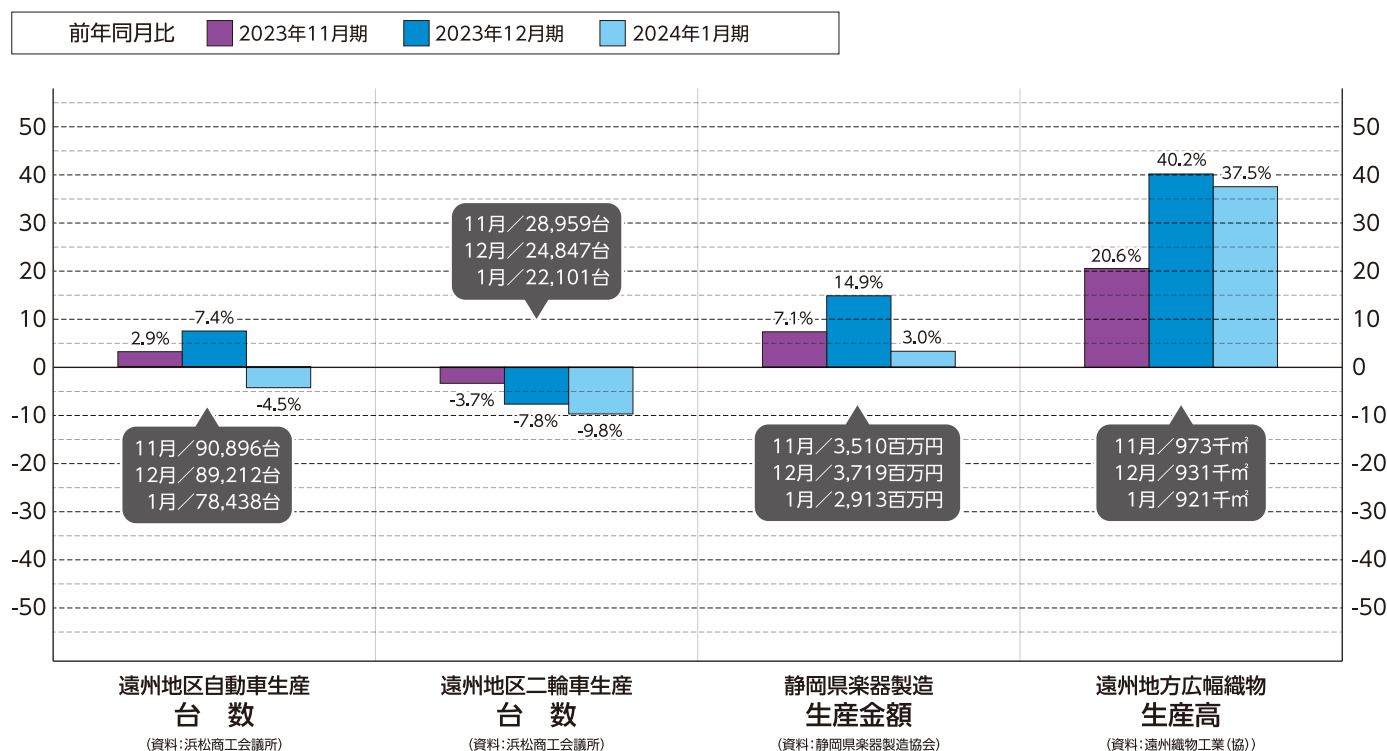


浜松地域の経済動向

2024年
1月を中心に製造業は自動車・二輪車が減少、
非製造業も能登半島地震の影響を受けて伸び悩んだ。

自動車の生産台数は、ダイハツの認証不正問題の影響を受けて11カ月ぶりに減少。二輪車のコロナ特需はピークを過ぎて、減少傾向が続いている。楽器の生産金額は好調を維持し、繊維も前年同月を6カ月連続で上回った。運輸業は、1月上旬はホテル催事や新年会等で忙しかったが、中旬を過ぎると夜の中心街の人流が減り、運送収入は伸び悩んだ。能登半島地震の影響を受けてホテルの催事を控える傾向が見られた。有効求人倍率は高く、人手不足が懸念材料となっている。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年1月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比4.5%減の7.8万台となり、11カ月ぶりに減少となった。ダイハツの認証不正問題の影響を受けて減少になったと思われる。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は8.4%減、小型四輪車は9.8%増、普通自動車は89.1%減となり、普通自動車的大幅減少が全体を押し下げた。国内向けは10.9%減となったが、輸出は19.7%増で5カ月連続の増加となっている。

二輪車



2024年1月における二輪車生産台数は前年同月比9.8%減の2.2万台となり、コロナ特需はピークを過ぎて7カ月連続の減少となった。国内向けは34.8%減となり3カ月連続で減少、輸出は7.5%減で7カ月連続の減少となっている。排気量別では、50cc以下15.4%減、51cc～125cc以下5.7%減、126cc～250cc以下22.5%増、251cc以上13.4%減となり、好調だった251cc以上の大型バイクについても減少傾向にある。

楽器



2024年1月における楽器生産金額は前年同月比3.0%増の29.1億円となり、19カ月連続で前年同月を上回っている。5カ月ぶりに30億円を下回ったが、1月は稼働日数が少ないため例年生産金額は落ち込む。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ17.5%減、電子・電気ピアノ62.7%増、電子オルガン60.5%減、管楽器14.8%増となっている。

繊維



2024年1月の生産高は前年同月比37.5%増の921千㎡となり、6カ月連続で前年同月を上回った。コロナ禍からは回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準への回復には至っていない。アパレルなどがモノを作り過ぎない、在庫リスクを避ける傾向が強まり、その結果、小ロット・短納期の受注が主になっている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年1月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比2.8%減の26.7万人となった。1月上旬は、ホテルの催事や新年会・同窓会も多くあり、運送収入増につながった。しかし、中旬を過ぎると夜の中心街の人も減り、運送収入は伸び悩んだ。

観光

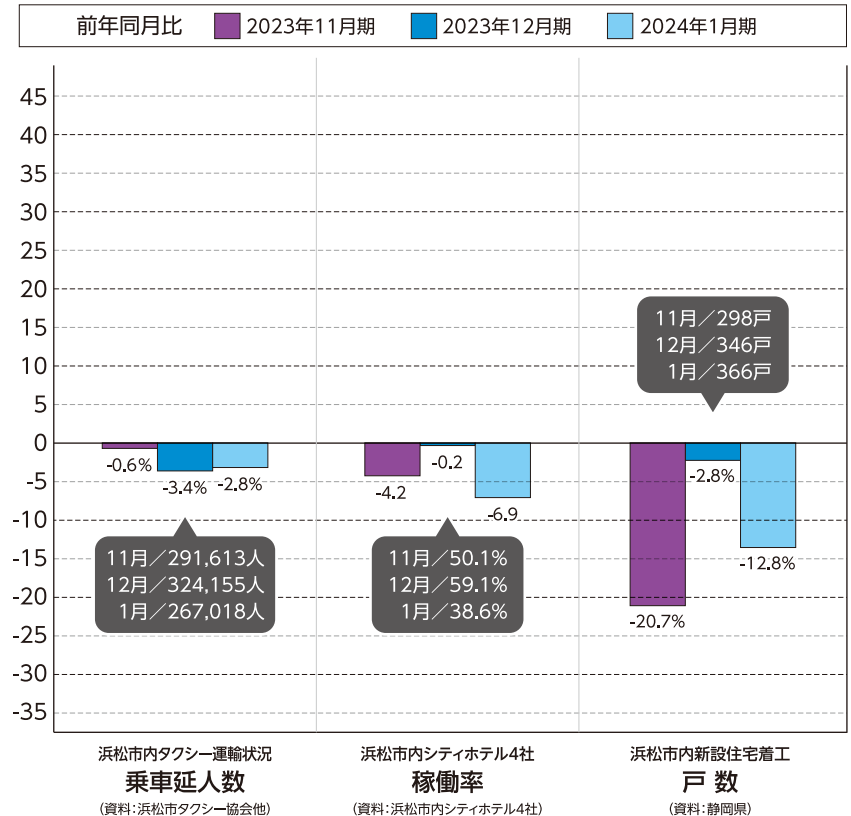


2024年1月の浜松市内ホテルの稼働率は38.6%であった。団体・個人客とも伸び悩む状況であった。また、大きな催し物は、能登半島地震で控える傾向も出てきており、宿泊稼働率にも影響が出たと考えられる。

住宅着工



2024年1月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比54戸(-12.8%)減少の366戸となった。内訳をみると、持家は180戸、貸家108戸、分譲住宅は77戸であった。持ち家は5戸減少し、貸家は5戸の増加であったが、分譲住宅は54戸の減少であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年1月の有効求人倍率は1.40倍となり、前年同月との比較では0.09ポイント上回り、前月との比較では0.05ポイント下回った。全国(1.27)との比較では0.13ポイント、静岡県(1.21)との比較では0.19ポイント上回っている。浜松市の雇用情勢は、全国および静岡県よりも「売り手市場」となっており、人手不足が懸念材料になっている。

倒産企業



2024年1月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は55件、金額は6.4億円だった。前年同月との比較では件数が20件、金額も3.1億円の増加となった。代位弁済件数は6カ月連続で前年同月を上回り、金額も3カ月連続で上回っている。件数・金額とも増加傾向にあり、資金繰りが悪化している企業が増えている。

ガソリン価格

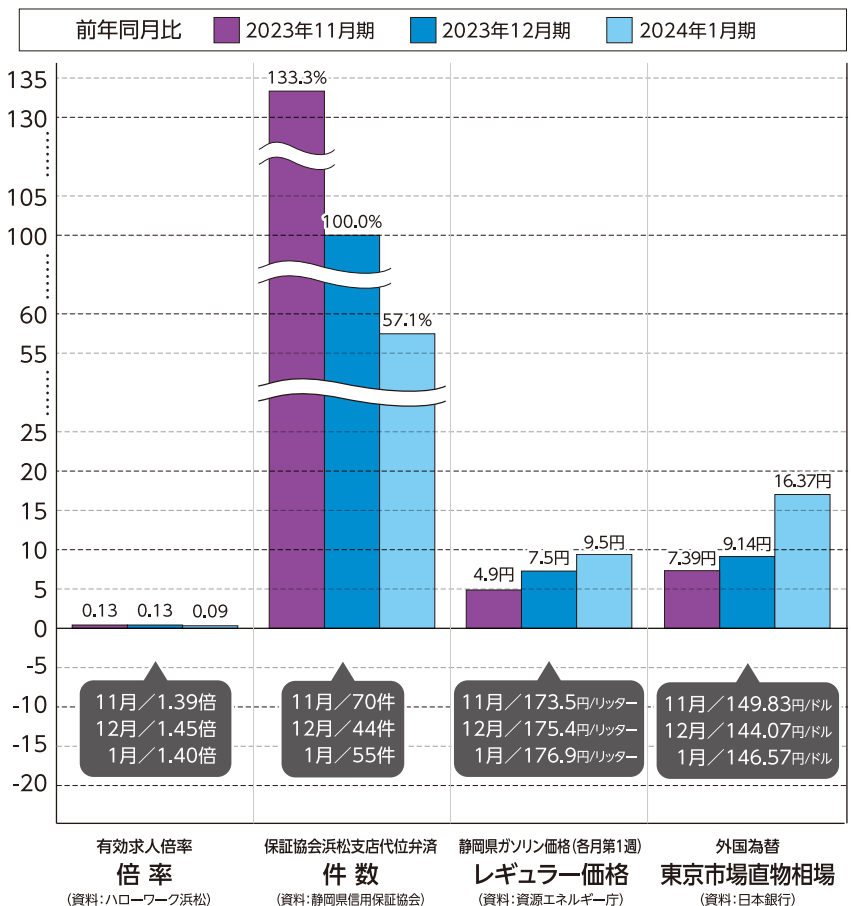


2024年1月第1週のレギュラーガソリン価格は1リッター当たり176.9円だった。前年同月との比較では9.5円増加、先月との比較でも1.5円の増加となった。2カ月連続で175円超となり、2023年10月以来の176円台まで高騰した。ガソリン価格の上昇は企業活動や家計を圧迫し、資金繰りや消費に影響を及ぼしている。

外国為替



2024年1月の外国為替は1ドル146.57円となり、前年同月との比較では16.37円の円安となった。前月との比較でも2.50円の円安となり、再び円安傾向に推移した。

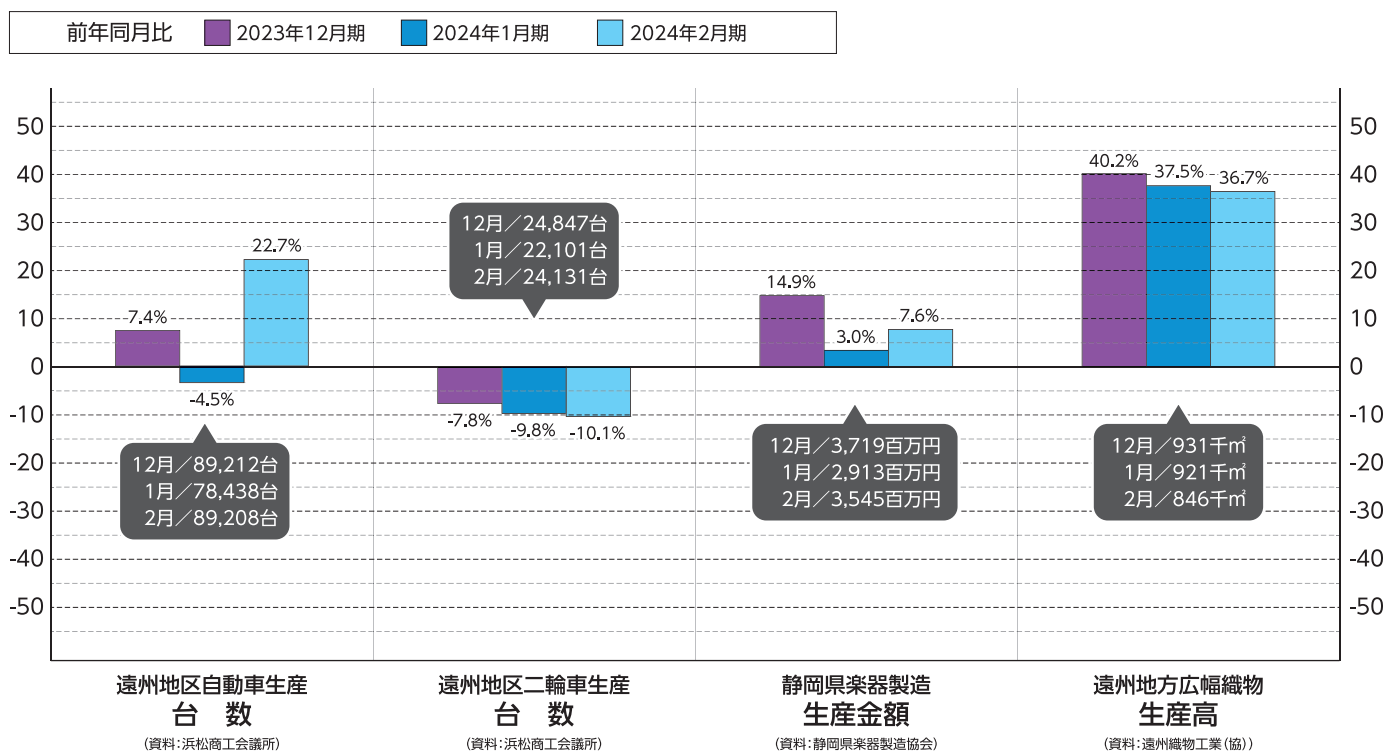


製造業は自動車・楽器が回復し、

非製造業はホテル利用の団体客がインバウンド効果で増加傾向。

自動車の生産台数は、自動車メーカーの認証不正問題の影響は一過性で再び前年同月を上回った。二輪車は減少傾向が続いている。楽器の生産金額は前年同月を20カ月連続で上回り、繊維も7カ月連続で上回った。運輸業は、例年2月の催事やイベントが少ないため運送収入は増加しにくい。ホテルの稼働率は、能登半島地震の影響を受けて個人客の利用減があったものの、団体客はインバウンドが増加傾向にある。レギュラーガソリンの高騰と円安が進み、収益を圧迫している。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年2月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比22.7%増の8.9万台となり、自動車メーカーの認証不正問題等の影響は一時的なものだったと思われる。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は18.9%増、小型四輪車は35.9%増、普通自動車は37.1%減となり、軽自動車の回復が生産台数の増加に寄与している。国内向けは22.7%増、輸出も22.7%増となり6カ月連続の増加となっている。

二輪車



2024年2月における二輪車生産台数は前年同月比10.1%減の2.4万台となり、8カ月連続の減少となった。国内向けは27.5%減となり4カ月連続で減少、輸出は8.3%減で8カ月連続の減少となっている。排気量別では、50cc以下20.7%減、51cc～125cc以下20.3%減、126cc～250cc以下15.9%増、251cc以上11.1%減となり、251cc以上の大型バイクも2カ月連続で減少となった。

楽器



2024年2月における楽器生産金額は前年同月比7.6%増の35.4億円となり、20カ月連続で前年同月を上回っている。生産金額は再び35億円超となり、堅調に推移している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ18.7%減、電子・電気ピアノ29.4%減、電子オルガン58.9%減、管楽器21.3%増となっている。

繊維



2024年2月の生産高は前年同月比36.7%増の846千㎡となり、7カ月連続で前年同月を上回った。対前年比は回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準への回復には至っていない。アパレルメーカーなどが、国内のモノづくりが割高になっているため、低価格を維持するために東南アジアを中心とする海外製の生地を選ぶ傾向があり、遠州産地にも影響が出ている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年2月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比4.0%減の26.6万人となった。例年2月はホテルの催事やイベントが少なく、運送収入が増加しにくい月である。今年は、閏年で1日営業日数が多かったが、あまり運送収入に影響は出ていない。

観光

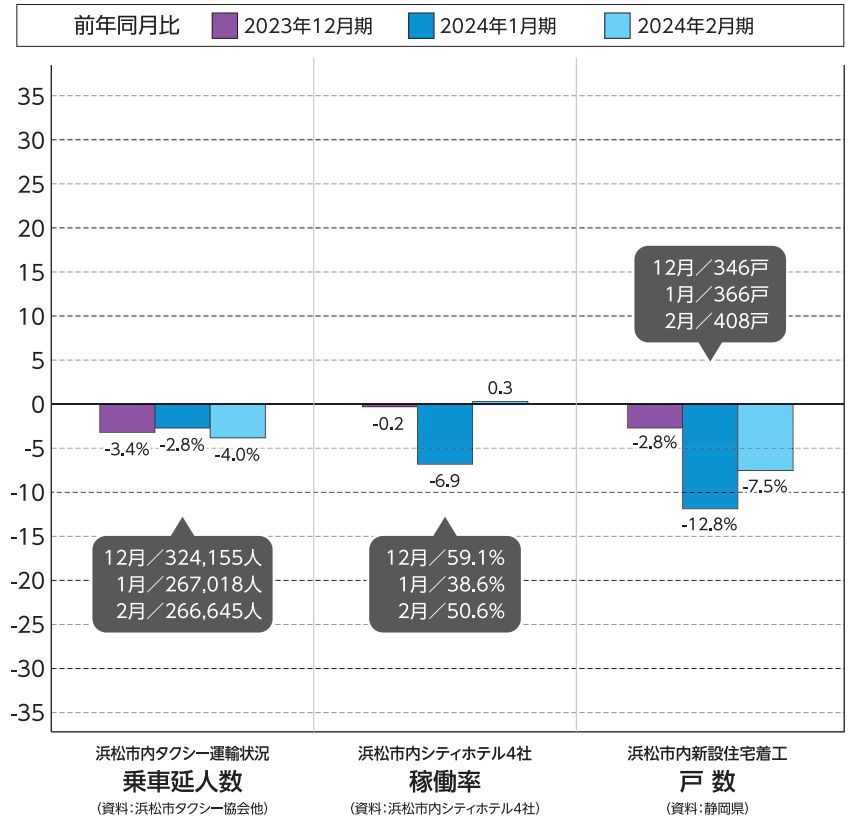


2024年2月の浜松市内ホテルの稼働率は50.6%であった。個人客に関しては、能登半島地震の影響か、観光・ビジネスともに減ってしまった。団体客はインバウンドが増加傾向にあったため、全体の稼働率は50%を回復した。

住宅着工



2024年2月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比33戸(-7.5%)減少の408戸となった。内訳をみると、持家は150戸、貸家181戸、分譲住宅は77戸であった。持ち家は47戸減少したが、貸家は1戸の増加で分譲住宅は19戸の増加であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年2月の有効求人倍率は1.35倍となり、前年同月との比較では0.03ポイント上回り、前月との比較では0.05ポイント下回った。全国(1.26)との比較では0.09ポイント、静岡県(1.20)との比較では0.15ポイント上回り、浜松市の雇用情勢は全国および静岡県よりも人手不足が課題となっているが、少しずつ有効求人倍率は下がってきている。

倒産企業



2024年2月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は39件、金額は4.5億円だった。前年同月との比較では件数が7件、金額も1.2億円の増加となった。件数は7カ月連続で前年同月を上回り、金額も4カ月連続で上回っている。コスト上昇や人材不足が影響して代位弁済数が増えていると思われる。

ガソリン価格

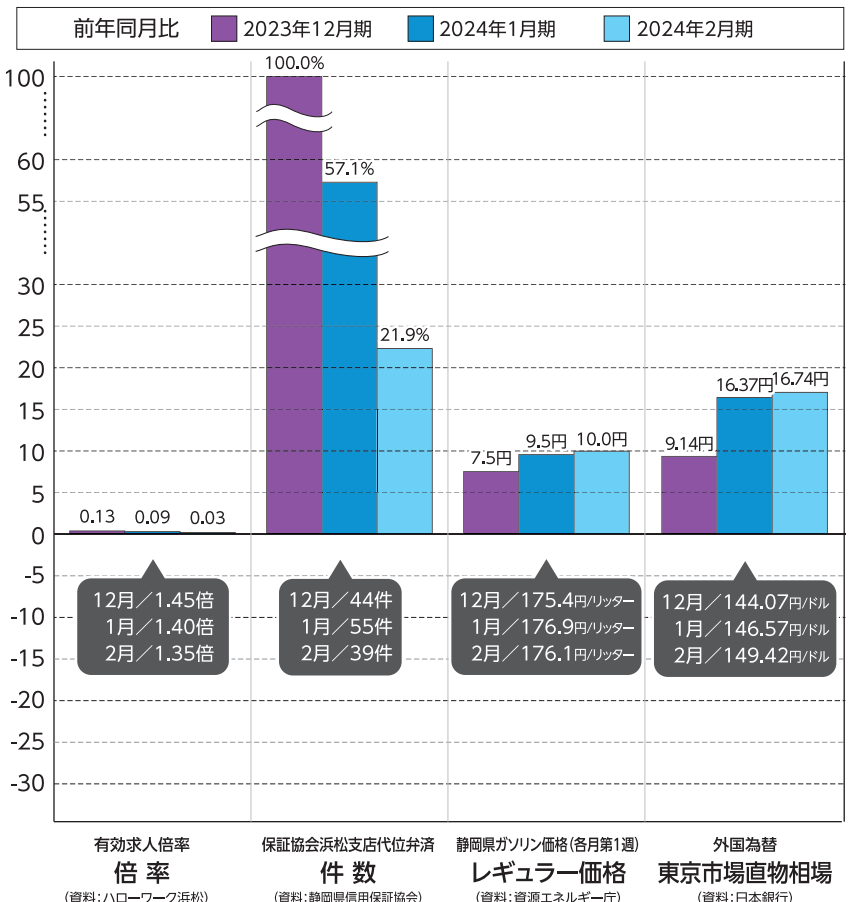


2024年2月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり176.1円だった。前年同月との比較では10.0円増加し、先月との比較では0.8円の減少となった。3カ月連続で175円を上回り、企業活動や消費行動に影響を及ぼしかねない。物流の2024年問題と合わせて、輸送業界の今後の動向に注視していきたい。

外国為替



2024年1月の外国為替は1ドル149.42円となり、前年同月との比較では16.74円の円安となった。前月との比較でも2.85円の円安となり、150円圏近となっている。



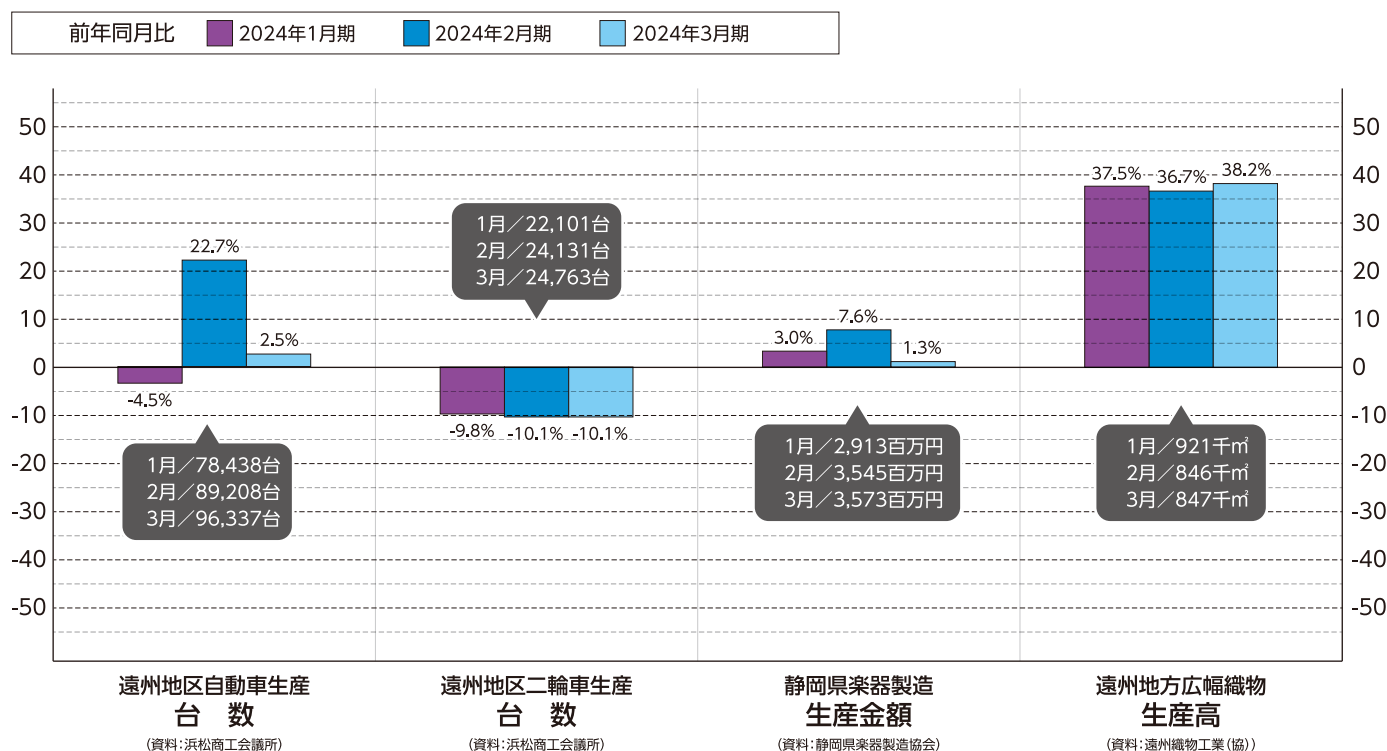
浜松地域の経済動向

2024年
3月を中心に

製造業は自動車と楽器が堅調に推移し、
非製造業はインバウンドのホテル利用が急激に増加した。

自動車の生産台数は、自動車メーカーの認証不正問題の影響が短期間で解消したことにより前年同月を上回った。二輪車は引き続き減少傾向が続いている。楽器の生産金額は前年同月を21カ月連続で上回り、繊維も8カ月連続で上回った。運輸業（タクシー）は、ホテルの催事が増え、遠距離の送迎も増加している。ホテルの稼働率は、円安の影響からインバウンドが急激に増加し、稼働率が5カ月ぶりに60%を超えた。ガソリン価格は引き続き高水準で推移し、円安も進みコスト上昇が懸念される。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年3月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比2.5%増の9.6万台となり、自動車メーカーの認証不正問題等の影響は短期間で解消された模様。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は5.3%増、小型四輪車は2.3%増、普通自動車は60.6%減となった。国内向けは4.4%増で2カ月連続で増加、輸出は3.4%減で7カ月ぶりに減少となった。

二輪車



2024年3月における二輪車生産台数は前年同月比10.1%減の2.4万台となり、9カ月連続の減少となった。国内向けは16.4%減となり5カ月連続で減少、輸出は9.5%減で9カ月連続の減少となっている。排気量別では、50cc以下23.9%減、51cc～125cc以下12.7%減、126cc～250cc以下40.5%増、251cc以上14.6%減となり、コロナ禍以降好調だった251cc以上の大型バイクも3カ月連続で減少となった。

楽器



2024年3月における楽器生産金額は前年同月比1.3%増の35.7億円となり、21カ月連続で前年同月を上回っている。生産金額は35億円超を維持している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ21.9%減、電子・電気ピアノ69.0%減、電子オルガン76.3%減、管楽器16.9%増となっている。

繊維



2024年3月の生産高は前年同月比38.2%増の847千㎡となり、8カ月連続で前年同月を上回った。対前年比は回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準までは回復していない。暖冬による秋冬衣料の販売が思わしくなく、店頭・流通在庫の増加の影響が生産の低迷につながっていると推測される。また、このところの円安傾向により、糸の値段が更に増加する懸念がある。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年3月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比7.8%減の30.1万人となった。3月中旬よりホテルの催事が多く入るようになり、遠距離の送迎も増加した。また、日中の買い物客や通院客も戻ってきており、土日以外は配車に追われるようになってきている。

観光

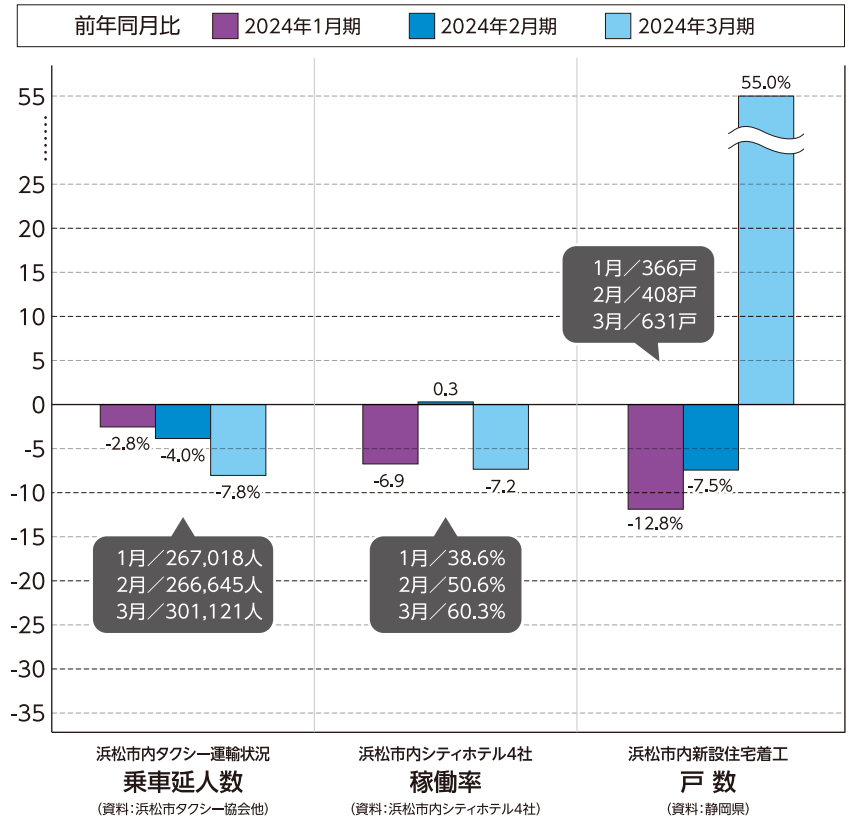


2024年3月の浜松市内ホテルの稼働率は60.3%であった。個人客は、観光・ビジネスともあまり伸びが見られなかった。しかし、円安の影響からかインバウンドが急激に増加した。やはり中国人が多いが、インド・東南アジアなども増えており、稼働率も5カ月ぶりに60%を超えた。

住宅着工



2024年3月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比55.0%増の631戸となった。内訳をみると、持ち家は136戸、貸家426戸、分譲住宅は69戸であった。持ち家は36戸減少したが、貸家は261戸の大幅な増加となり、分譲住宅は1戸の減少だった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年3月の有効求人倍率は1.31倍となり、前年同月との比較では0.05ポイント上回り、前月との比較では0.04ポイント下回った。全国(1.28)との比較では0.03ポイント、静岡県(1.18)との比較では0.13ポイント上回り、浜松市の雇用情勢は全国および静岡県よりも人手不足感が強い。

倒産企業



2024年3月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は30件、金額は3.0億円だった。前年同月との比較では件数が6件、金額も1.4億円の減少となった。件数は8カ月ぶりに前年同月を下回った。ゼロゼロ融資の返済が始まり代位弁済は増えたが、若干の落ち着いた見られるようになってきた。

ガソリン価格

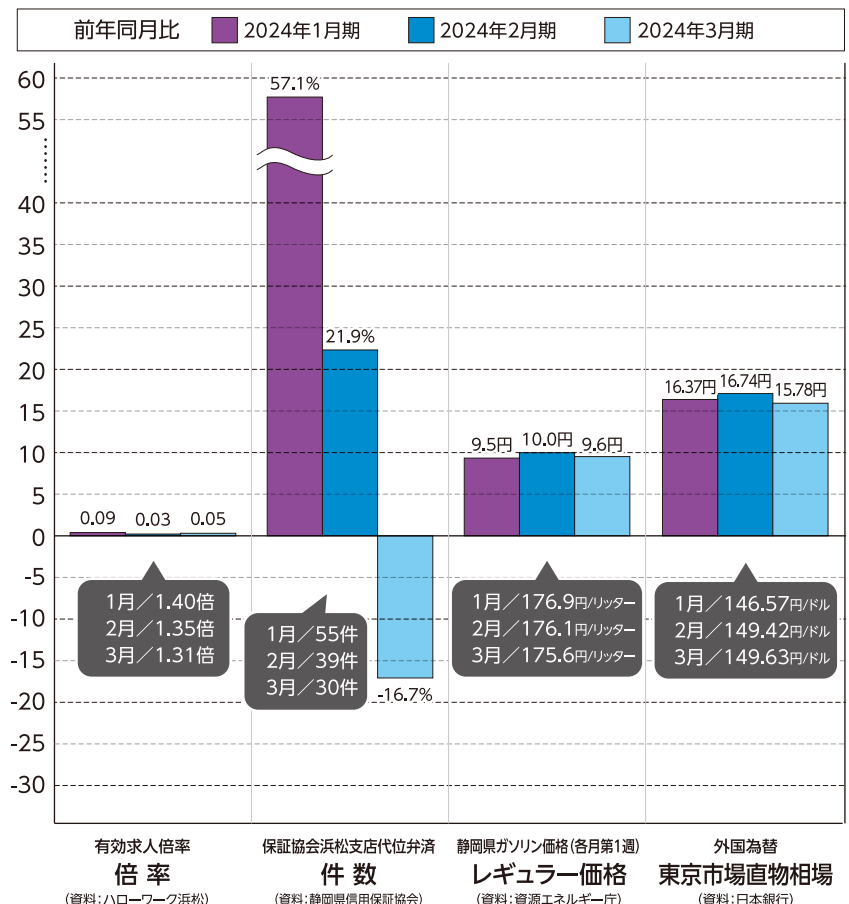


2024年3月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり175.6円で前年同月との比較では9.6円増加した。前月との比較では0.5円の減少となったが、4カ月連続で175円を上回り高水準で推移している。物流の2024年問題と合わせて、輸送業界はコスト上昇への対応に追われている。ガソリン価格高騰は多くの企業や消費者にも影響を及ぼしている。

外国為替



2024年3月の外国為替は1ドル149.63円となり、前年同月との比較では15.78円の円安となった。前月との比較でも0.21円の円安となり、150円間近となっている。輸入材料などのコスト上昇が懸念される。



浜松地域の経済動向

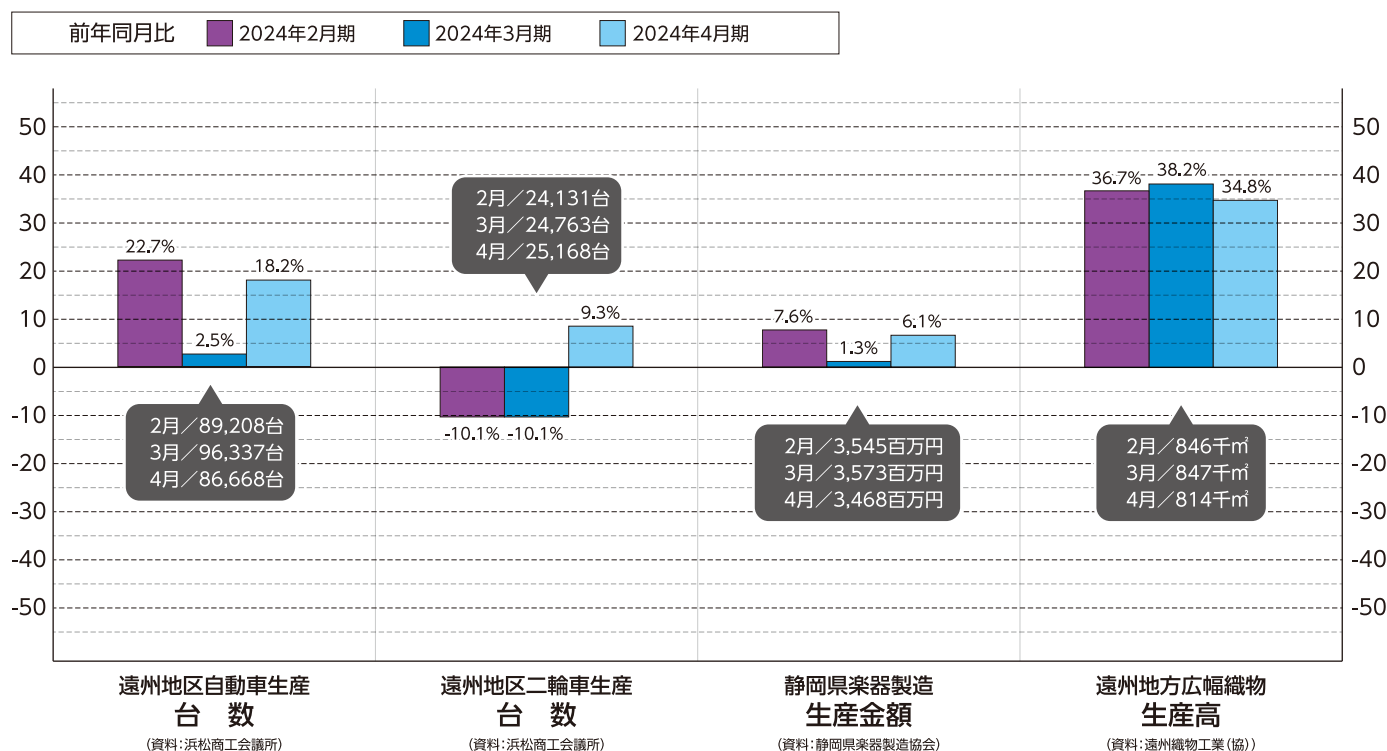
2024年
4月を中心に

製造業は自動車、二輪車、楽器、繊維が前年同月を上回った。

外国為替は1ドル150円台を突破し、円安による影響が拡大。

自動車の生産台数は、自動車メーカーの認証不正問題の影響が解消し前年同月を上回った。二輪車は10カ月ぶりに前年同月を上回り今後の動向に注目している。楽器の生産金額は22カ月連続で前年同月を上回り堅調に推移し、繊維も9カ月連続で前年同月を上回った。運輸業（タクシー）は、期待された浜名湖花博による利用増には至らなかったが、ホテルの利用はインバウンドや浜名湖花博募集ツアーが好調だった。ガソリン価格は引き続き高値圏で推移し、外国為替はさらに円安が進行し、ついに150円台を突破した。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年4月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比18.2%増の8.6万台となり、3カ月連続で前年同月を上回った。自動車メーカーの認証不正問題などの影響は短期間で解消し、業況の回復がみられる。生産台数はコロナ前の水準に戻った。排気量別に区分して前年同月を比較してみると、軽自動車は17.1%増、小型四輪車は28.1%増、普通自動車は66.0%減となった。国内向けは10.9%増で3カ月連続で増加、輸出も47.5%増と好調を維持している。

二輪車



2024年4月における二輪車生産台数は前年同月比9.3%増の2.5万台となり、10カ月ぶりに前年同月を上回った。国内向けは27.0%増となり6カ月ぶりに、輸出も7.6%増で10カ月ぶりに上回った。排気量別では、50cc以下46.1%増、51cc～125cc以下18.3%増、126cc～250cc以下46.9%増、251cc以上0.6%増となった。車検のない原付から250ccまでの合計が4カ月連続で前月を上回っており、今後の動向に注目している。

楽器



2024年4月における楽器生産金額は前年同月比6.1%増の34.6億円となり、22カ月連続で前年同月を上回っている。生産金額は35億円を若干下回ったが好調を維持している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ7.8%減、電子・電気ピアノ70.9%減、電子オルガン45.8%減、管楽器8.9%増となっている。

繊維



2024年4月の生産高は前年同月比34.8%増の814千㎡となり、9カ月連続で前年同月を上回った。対前年比は回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準までは回復していない。アパレルメーカーなどはモノを作りすぎない傾向が顕著で、工場でも受注ロットは縮小している。さらに円安により、輸入する糸の値段が上がっていることも影響が大きいようである。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年4月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比7.8%減の27.9万人となった。平日の日中および週末夜間の需要は堅調であった。期待された浜名湖花博については、いまだ特別な利用増には至っていない。

観光

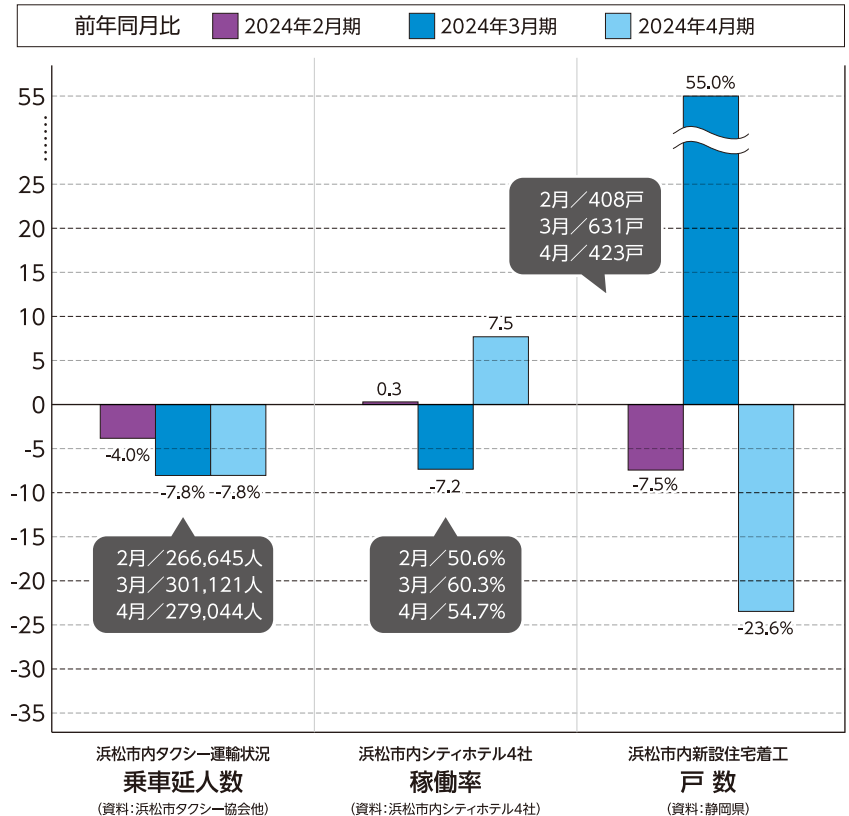


2024年4月の浜松市内ホテルの稼働率は54.7%であった。団体客は、インバウンドや浜名湖花博募集ツアーが好調であった。個人客は、観光・ビジネスともいまだ伸び悩む状況であった。

住宅着工



2024年4月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比23.6%減の423戸となった。内訳をみると、持家は151戸、貸家211戸、分譲住宅は61戸であった。持ち家は5戸、貸家は47戸のそれぞれ増加となったが、分譲住宅は173戸の減少であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年4月の有効求人倍率は前年同月比0.01ポイント下降の1.17倍となった。前月との比較で0.14ポイント下降となったが、例年4月以降の数カ月間は定年退職者の増加によって有効求人倍率は悪化する傾向がみられる。全国(1.26)との比較では0.09ポイント下回り、静岡県(1.15)との比較では0.02ポイント上回った。

倒産企業



2024年4月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は20件、金額は1.2億円だった。前年同月との比較では件数が7件増加し、金額は0.3億円の減少となった。件数に対して金額の割合が少なかったことをみると小規模経営の代位弁済が多かったと思われる。引き続きゼロセロ融資の返済に窮して、代位弁済を受ける企業が増加傾向にある。

ガソリン価格

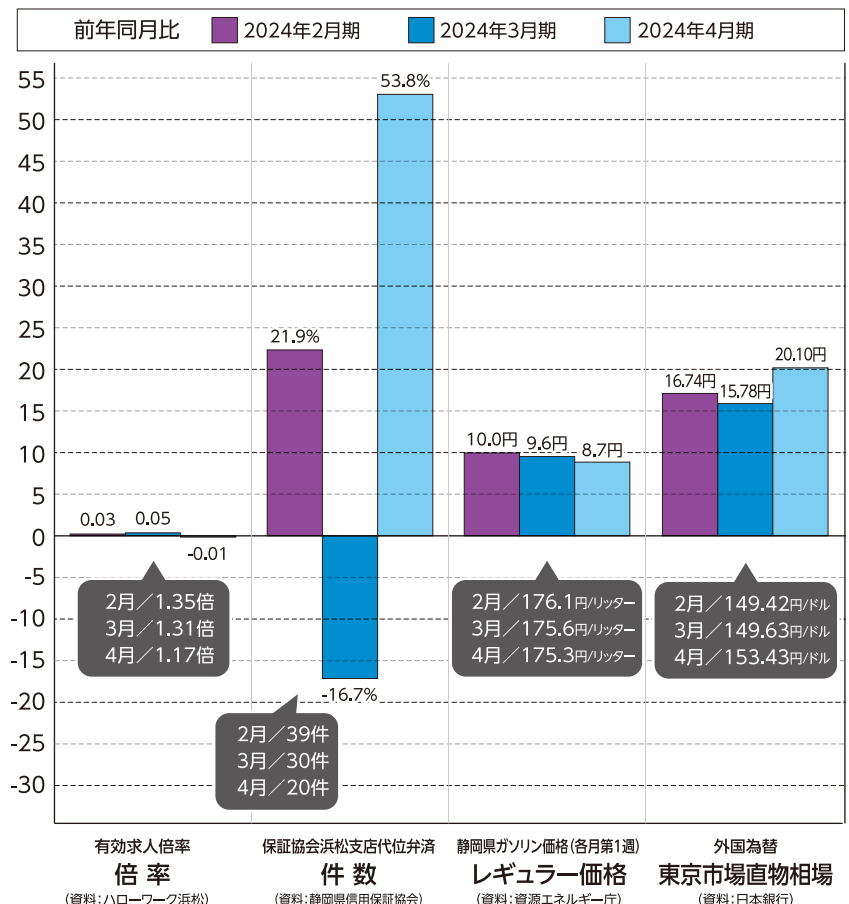


2024年4月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり175.3円で前年同月との比較では8.7円増加した。前月との比較では0.3円減少したが、5カ月連続で175円を上回り高値圏で推移している。

外国為替



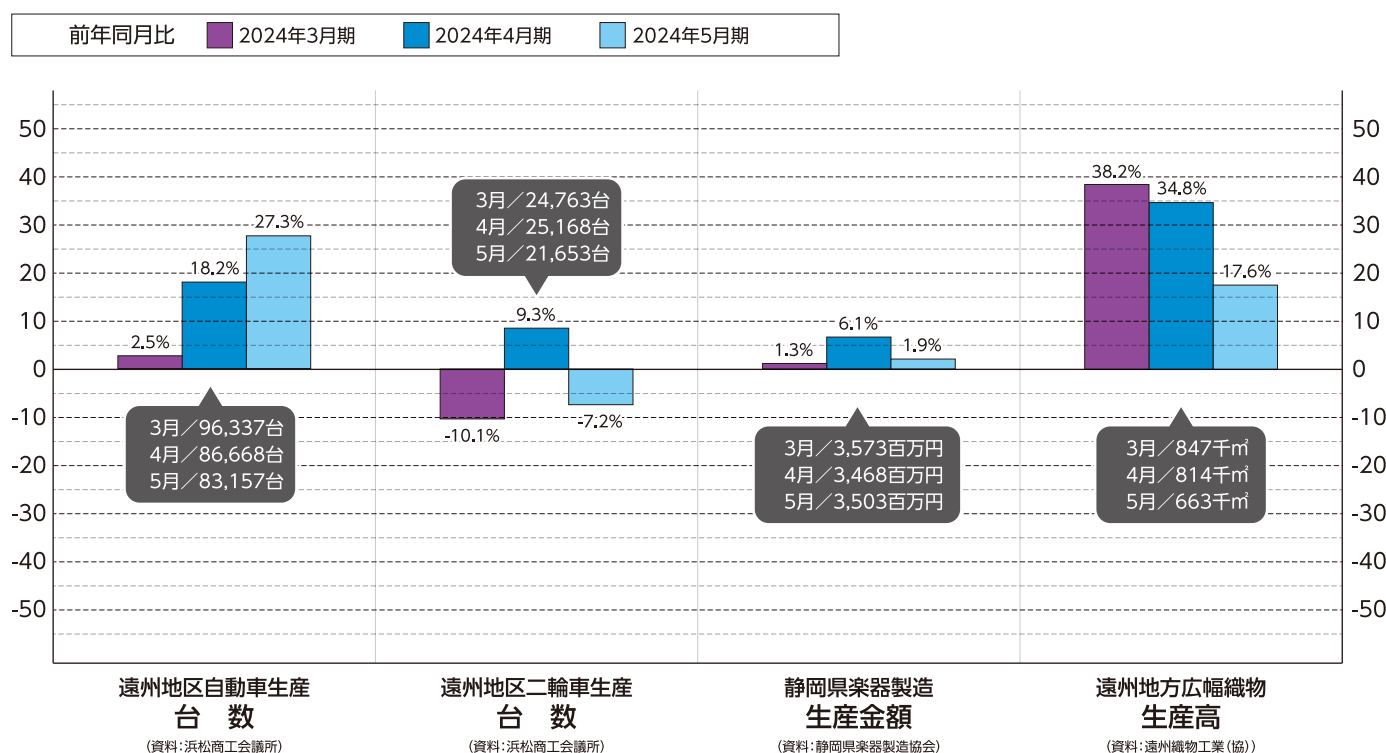
2024年4月の外国為替は1ドル153.43円となり150円を突破した。前年同月との比較で20.10円、前月との比較で3.80円の円安となった。4カ月連続で前月より円安となり、円安の進行が止まらない。円安による輸入物価高騰が経済活動におけるコスト上昇に影響を与えている。



製造業は自動車、楽器、繊維が前年同月を上回り、二輪車は下回った。
外国為替は1ドル156円台となり、円安の進行が止まらない。

自動車の生産台数は、新型車の生産が寄与したことで前年同月を上回った。二輪車は国内向け、輸出いずれも前年同月を下回った。楽器の生産金額は好調を維持し、繊維も10カ月連続で前年同月を上回った。運輸業（タクシー）は、運賃改正による収入増はあるものの利用人員は減っている。ホテルの稼働率は、団体客による浜名湖花博ツアーおよびインバウンドは好調だったが全体では伸び悩んだ。ガソリン価格は引き続き高値圏で推移し、外国為替はさらに円安が進行した。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年5月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比27.3%増の8.3万台となり、4カ月連続で前年同月を上回った。排気量別に区分して前年同月を比較してみると、軽自動車は31.4%増、小型四輪車は24.5%増、普通自動車は59.2%減となった。国内向けは23.7%増、輸出も41.5%増と高い伸びを示し、好調を維持している。新型車の生産が大きく寄与した模様。

二輪車



2024年5月における二輪車生産台数は前年同月比7.2%減の2.1万台となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。国内向けは14.9%減、輸出も6.3%減といずれも前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下22.0%増、51cc～125cc以下25.7%増、126cc～250cc以下21.4%増と250cc以下の生産がそろって増加した一方、251cc以上は16.3%減少した。

楽器



2024年5月における楽器生産金額は前年同月比1.9%増の35.0億円となり、23カ月連続で前年同月を上回っている。生産金額は2カ月ぶりに35億円を上回り、好調を維持している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ24.2%減、電子・電気ピアノ68.4%減、電子オルガン23.0%減、管楽器15.0%増となっている。

繊維



2024年5月の生産高は前年同月比17.6%増の663千㎡となり、10カ月連続で前年同月を上回った。対前年比は回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準までは回復していない。アパレルメーカーやデザイナーなどと直接取引する工場は概ね堅調だが、小口受注の傾向は顕著であり、委託生産（下請け）型の工場では、厳しい状況は続くと思われる。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年5月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比5.8%減の30.2万人となった。運輸収入は、昨年秋の運賃改定効果があり収入は前年比増だが、利用人員は前年比減となっている。浜松まつりは、天候に恵まれたものの、嵐場への輸送台数は前年比若干のマイナスであった。

観光

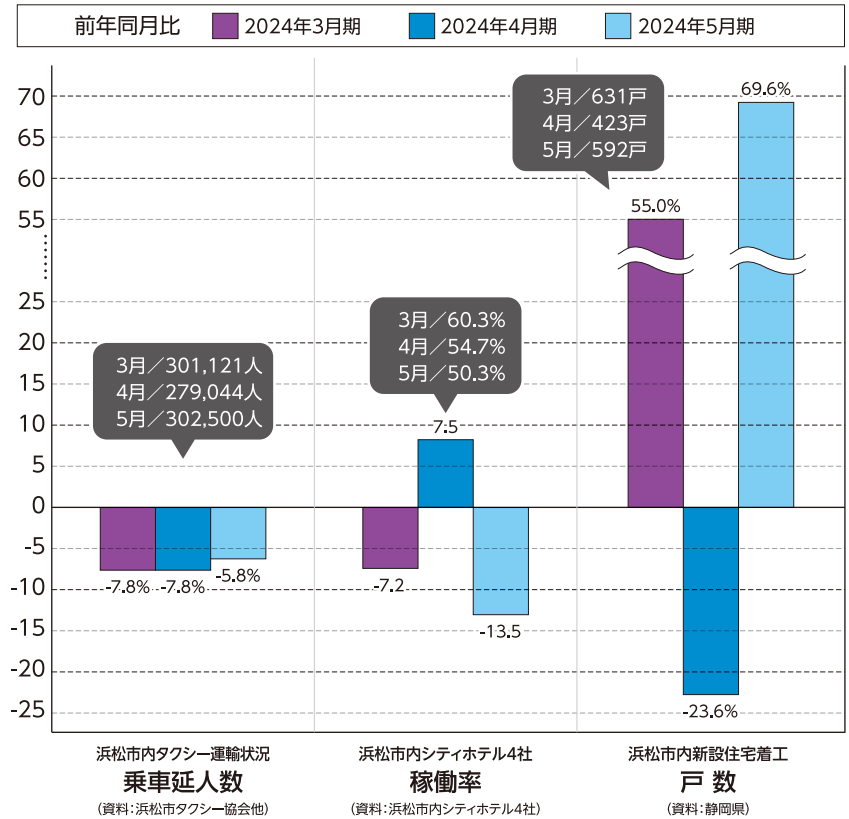


2024年5月の浜松市内ホテルの稼働率は50.3%であった。団体客は、浜名湖花博募集ツアー・インバウンドが好調であった。個人客は、GWは順調だったが、観光・ビジネスとも今ひとつ伸び悩む状況であった。

住宅着工



2024年5月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比69.6%増の592戸となった。内訳をみると、持家は193戸、貸家253戸、分譲住宅は146戸だった。前年同月との比較では、持ち家27戸、貸家137戸、分譲住宅79戸の増加となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年5月の有効求人倍率は前年同月比0.09ポイント下降の1.13倍となった。前月との比較で0.04ポイント下降となったが、例年4月以降の数カ月間は定年退職者の増加によって有効求人倍率は悪化する傾向がみられる。全国(1.24)との比較では0.11ポイント下回り、静岡県(1.11)との比較では0.02ポイント上回った。

倒産企業



2024年5月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は27件、金額は1.6億円だった。前年同月との比較では件数が2件増加し、金額は0.3億円の減少となった。ゼロゼロ融資の返済に行き詰まった事例や、物価高や人手不足が経営を圧迫している企業が増えている。

ガソリン価格

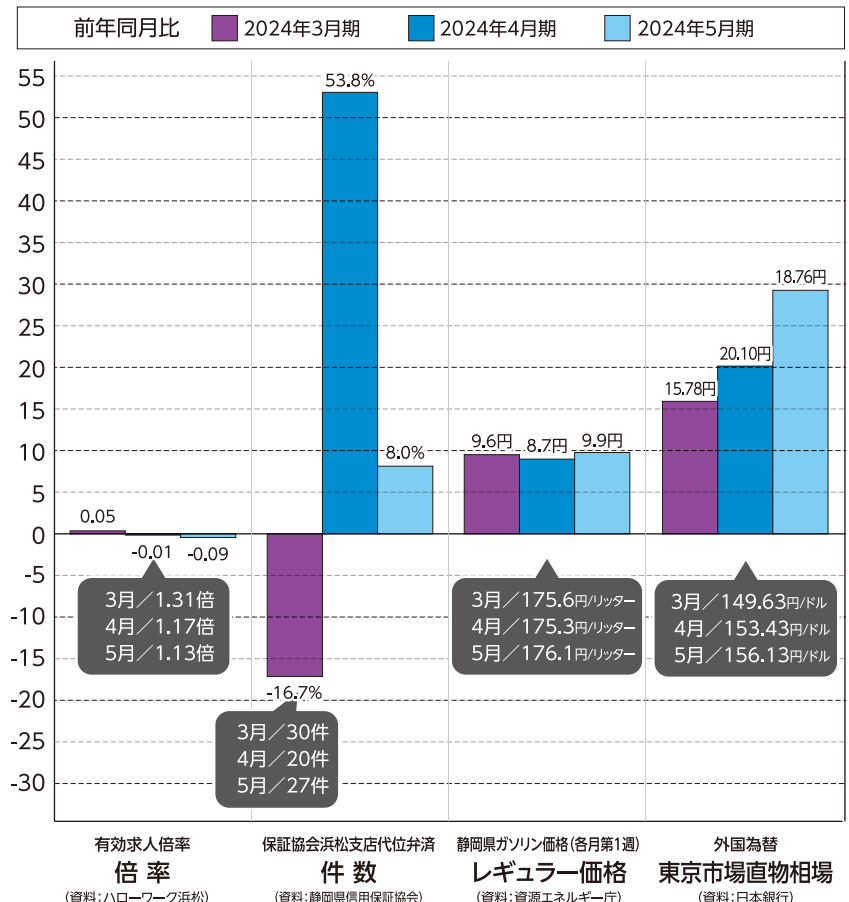


2024年5月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり176.1円で前年同月との比較では9.9円増加した。ガソリン補助金は延長されたが、6カ月連続で175円台を上回り高値圏で推移している。

外国為替



2024年5月の外国為替は1ドル156.13円となり、2カ月連続で150円超となった。前年同月との比較で18.76円、前月との比較でも2.7円の円安となり、円安の進行が止まらない。中小企業では円安による仕入価格の高騰が収益を圧迫している。



2024.

9月

発行：浜松商工会議所

データで見る経済の動き

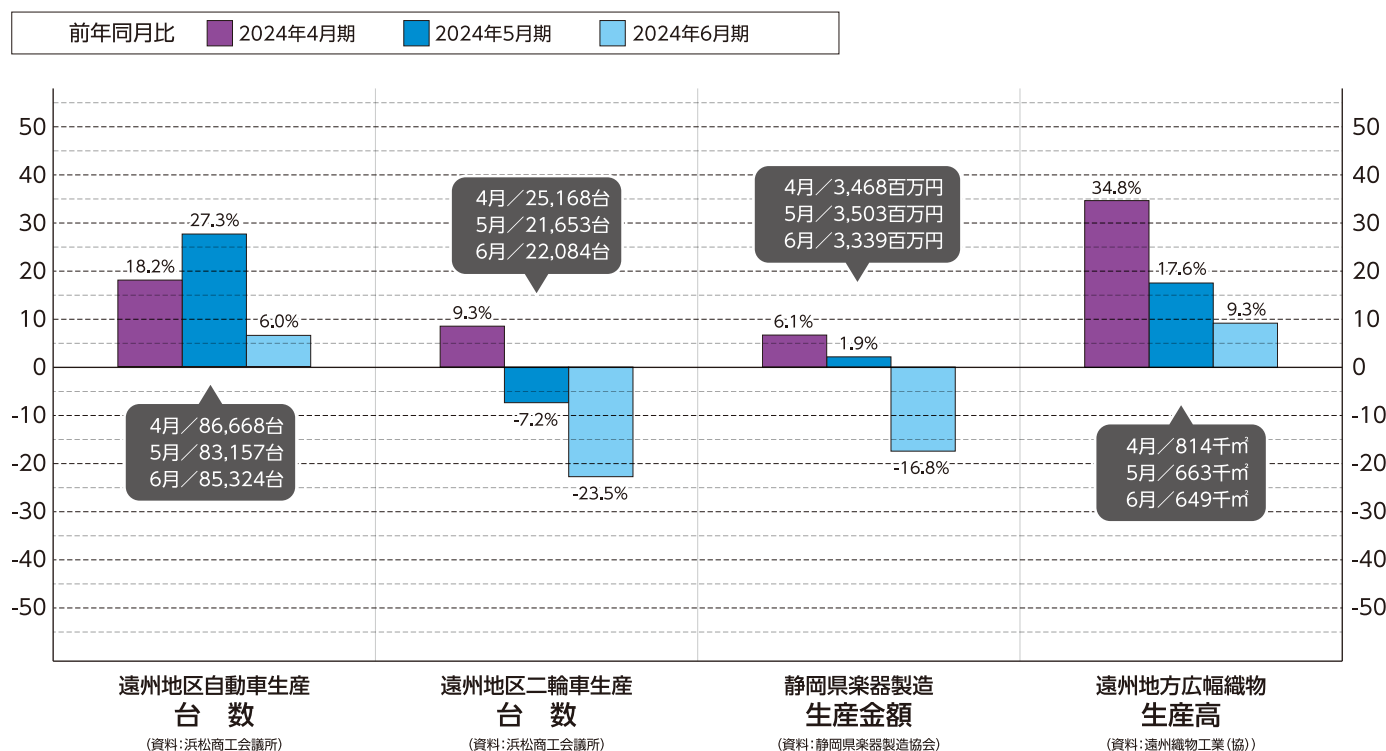
浜松地域の経済動向

2024年
6月を中心に

製造業は自動車、繊維が前年同月を上回り、二輪車、楽器は下回った。
原油価格は引き続き高値圏で推移している。

自動車の生産台数は、軽自動車が3カ月連続で二桁増と好調を維持している。一方、二輪車は国内向け輸出いずれも2カ月連続で前年同月を下回った。好調だった楽器は24カ月ぶりに前年同月を下回り今後の動向に注目。繊維は11カ月連続で前年同月を上回った。運輸業（タクシー）は平日夜間の動きが鈍く、ホテルの稼働率はインバウンドが上昇傾向で浜名湖花博の影響もあって団体客が好調。ガソリン価格は引き続き高値圏で推移し、外国為替は157円を超えた。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年6月における遠州地区の自動車生産台数は前年比6.0%増の8.5万台となり、5カ月連続で前年同月を上回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は11.8%増、小型四輪車は0.9%増、普通自動車は60.2%減となっている。軽自動車は新型車の効果もあって3カ月連続の二桁増と好調を維持している。国内向けは6.4%増で5カ月連続、輸出は4.6%増で3カ月連続の増加となっている。

二輪車



2024年6月における二輪車生産台数は前年比23.5%減の2.2万台となり、2カ月連続で前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下29.6%減、51cc～125cc以下15.6%減、126cc～250cc以下71.7%増、生産台数の過半を占める251cc以上は36.0%減と大きく減少した。国内向けは20.1%減、輸出も23.9%減といずれも2カ月連続で前年同月を下回った。

楽器



2024年6月における楽器生産金額は前年同月比16.8%減の33.3億円となり、24カ月ぶりに前年同月を下回った。中国経済の低迷により楽器販売の落ち込みが影響した模様。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ33.9%減、電子・電気ピアノ71.0%減、電子オルガン50.7%減、管楽器4.3%減と全ての分野で減少となった。

繊維



2024年6月の生産高は前年同月比9.3%増の649千㎡となり、11カ月連続で前年同月を上回った。対前年比は回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準までは回復していない。遠州産地内の委託生産型の衣料品向け生地を生産する織布工場は厳しい状況にあるが、自販型の工場は安定的な受注を確保している模様で、2極化している。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年6月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比5.8%減の28.5万人となった。運輸収入は、昨年秋の運賃改定効果があり前年比増だが、利用人員は前年比減となっている。稼働日数が同じ4月よりも利用人員は増加したが、平日夜間の動きが鈍い。

観光

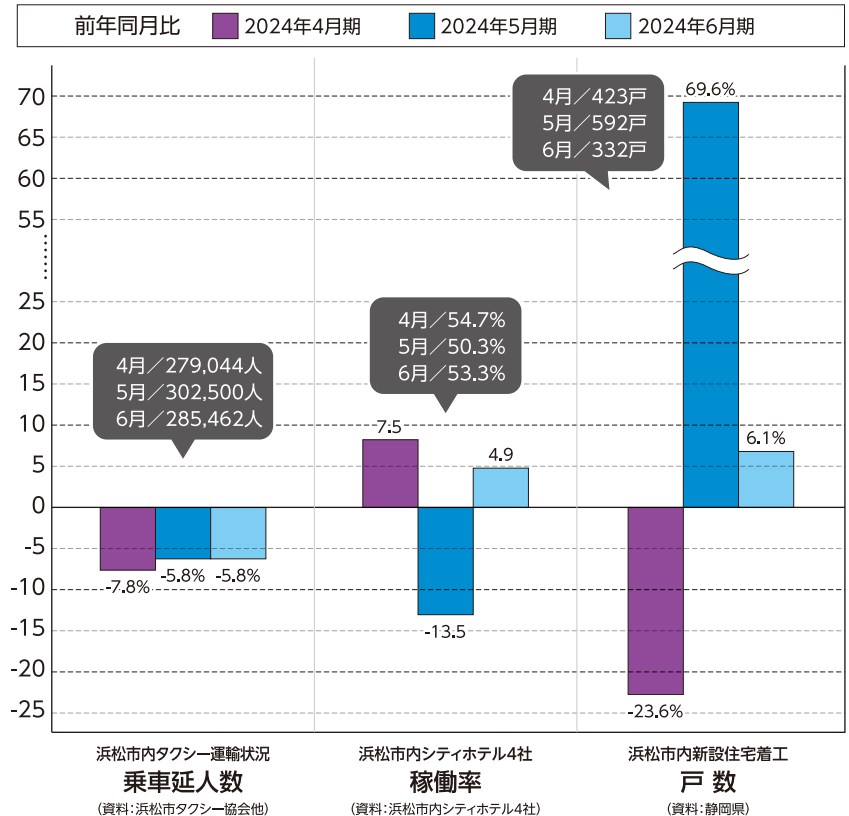


2024年6月の浜松市内ホテルの稼働率は53.3%であった。団体客は、インバウンドが上昇傾向で、浜名湖花博募集ツアーも好調だった。個人客は、観光・ビジネスとも予約が伸び悩む状況であった。

住宅着工



2024年6月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比6.1%増の332戸となった。内訳をみると、持家は168戸、貸家123戸、分譲住宅は41戸だった。前年同月との比較では、持ち家は増減なく、貸家が36戸増加し、分譲住宅は17戸の減少となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年6月の有効求人倍率は前年同月比0.11ポイント下降の1.11倍となり、前月との比較でも0.02ポイント下降となった。例年4月以降の数カ月間は定年退職者の増加によって有効求人倍率は悪化する傾向がみられる。全国(1.23)との比較では0.12ポイント下回っているが、静岡県(1.09)との比較では0.02ポイント上回った。

倒産企業



2024年6月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は35件、金額は3.5億円だった。前年同月との比較では件数が24件、金額が1.5億円の減少となった。昨年6月よりゼロゼロ融資の返済が始まり急激に代位弁済が増えた。さらに物価高による調達コストの増加と人手不足が重なり代位弁済は増加傾向にある。

ガソリン価格

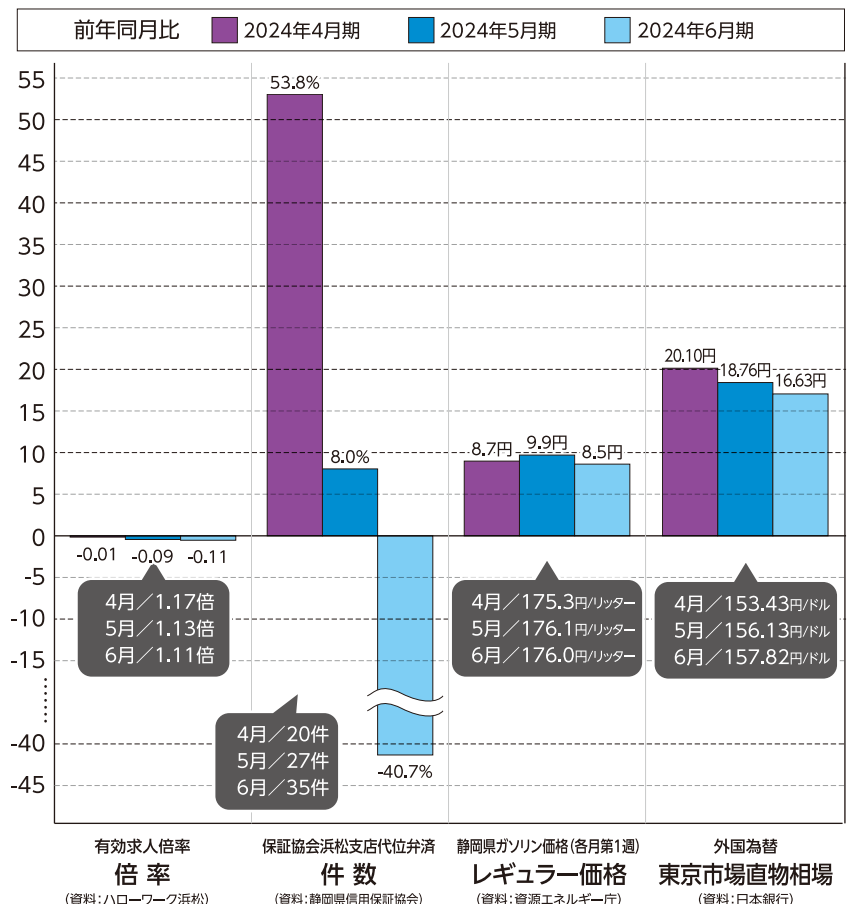


2024年6月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり176.0円で前年同月との比較では8.5円増加し、7カ月連続で175円台を上回った。原油価格の高騰は出口が見えない状況にある。

外国為替



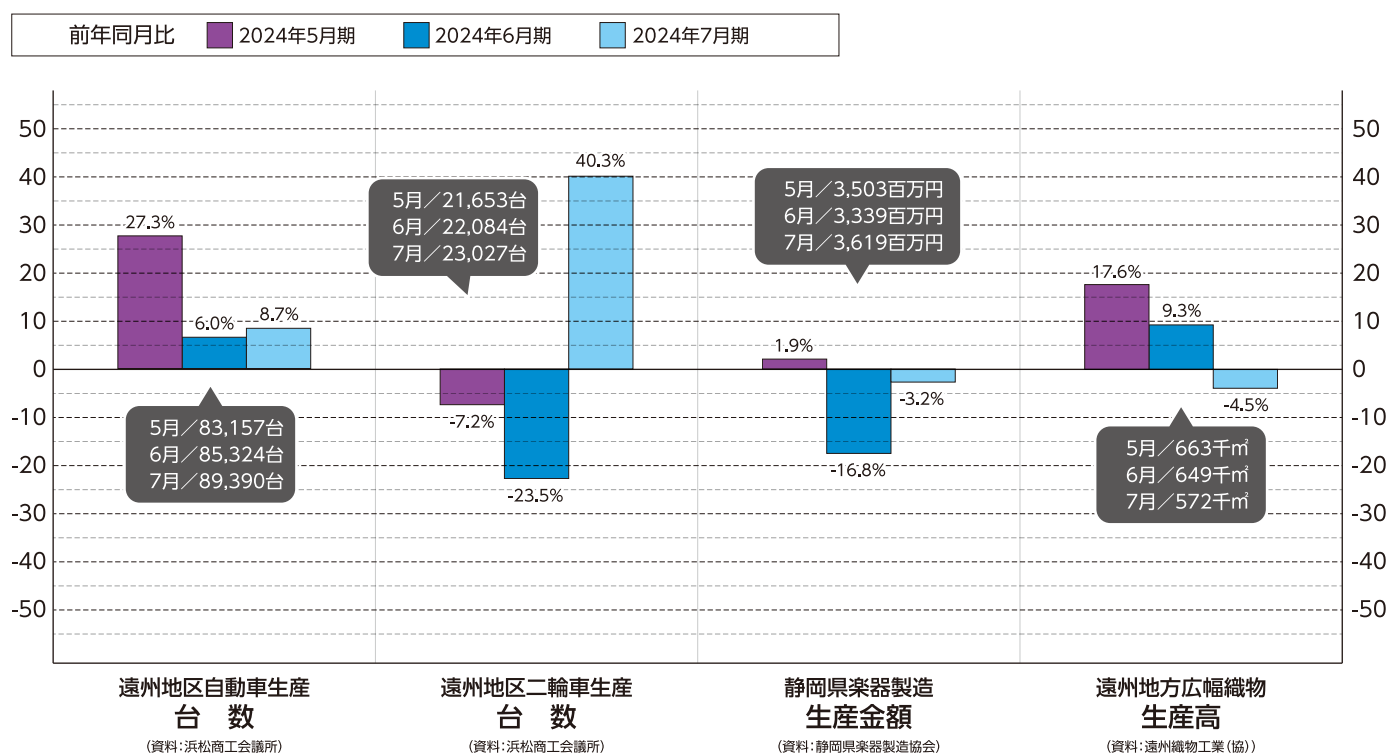
2024年6月の外国為替は1ドル157.82円となり、3カ月連続で150円超となった。前年同月との比較では16.63円円安となり、今年になって6カ月連続で円安となっている。輸入品の価格は円安の影響を受けて高騰し、収益を圧迫している。



製造業は自動車为好調を維持しているが、楽器・繊維が前年同月を下回った。非製造業は円安の影響からインバウンドが増加している。

自動車の生産台数は、軽自動車と小型車が好調を維持している。二輪車は3カ月ぶりに前年同月を上回った。楽器は好調だったピアノが落ち込み2カ月連続で前年同月を下回っている。タクシー乗車人員は10カ月連続で前年同月を下回り、配車アプリの強化など稼働率の向上を図っている。ホテルの稼働率は円安の影響を受けてインバウンドが増加し、外国為替は円安が更に進行して158円を超えた。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年7月における遠州地区の自動車生産台数は前年比8.7%増の8.9万台となり、6カ月連続で前年同月を上回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は13.6%増、小型四輪車は3.5%増、普通自動車は44.6%減となっている。軽自動車と小型車が好調を維持している。国内向けは7.5%増で6カ月連続、輸出は13.0%増で4カ月連続の増加となっている。輸出は小型車の欧州への輸出が増加の様様。

二輪車



2024年7月における二輪車生産台数は前年比40.3%増の2.3万台となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。排気量別では、50cc以下46.7%増、51cc～125cc以下180.7%増、126cc～250cc以下28.9%増、251cc以上は21.3%増となった。国内向けは35.7%増、輸出は40.8%増といずれも前年同月を大きく上回った。

楽器



2024年7月における楽器生産金額は前年同月比3.2%減の36.1億円となり、2カ月連続で前年同月を下回った。中国経済の低迷などによりピアノは落ち込んでいるが、電子・電気ピアノおよび管楽器の生産が後押しとなり生産金額は36億円を超えた。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ25.5%減、電子・電気ピアノ12.7%増、電子オルガン5.9%減、管楽器14.5%増となった。

繊維



2024年7月の生産高は前年同月比4.5%減の572千㎡となり、1年ぶりに前年同月を下回った。コロナがら類に移行して以降、対前年比は回復基調にあったが、その需要にも一服感が出ている。発注も1回にとどまり、追加発注を期待できず、生産量が減少することが懸念される。また、原材料費や染色加工費、電気代などの上昇が続いており、収益圧迫要因となっている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年7月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比4.8%減の30.7万人となった。運輸収入は、昨年秋の運賃改定効果があり前年比増だが、利用人員は前年比減となる傾向が続いている。配車アプリの機能を強化するなど、タクシー稼働率の向上を図っている。

観光

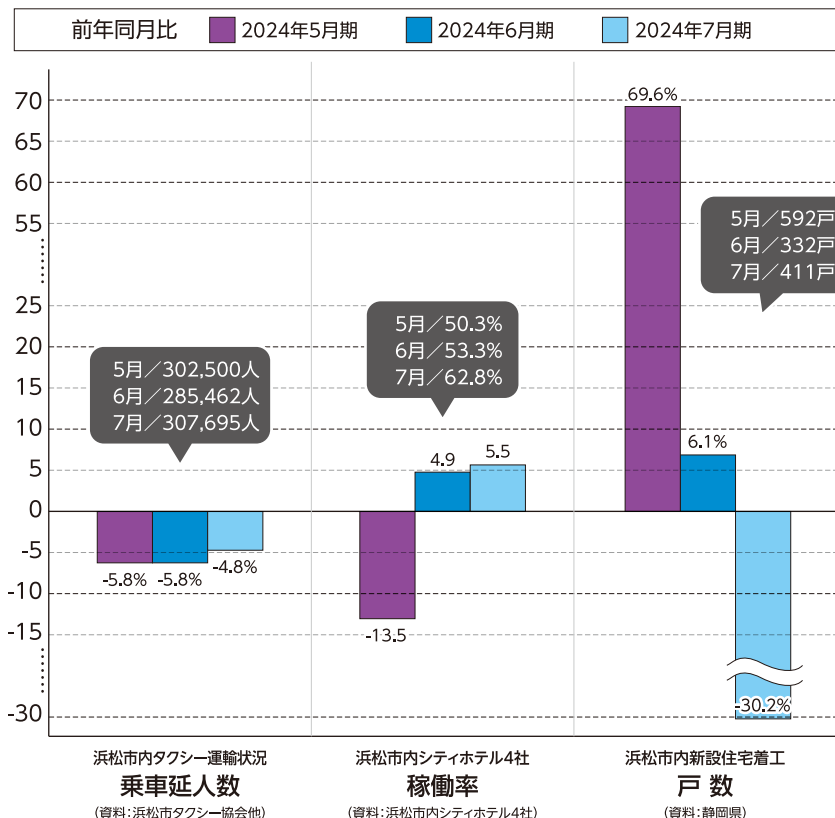


2024年7月の浜松市内ホテルの稼働率は62.8%であり、4カ月ぶりに60%を超えた。特に団体客のインバウンドが好調であり、中国人がその内8割を占めるなど顕著に回復している。個人客は、観光・ビジネスとも予約が伸び悩む状況であった。

住宅着工



2024年7月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比30.2%減の411戸となった。内訳をみると、持家は204戸、貸家148戸、分譲住宅は59戸だった。前年同月との比較では、持ち家が26戸、貸家が8戸、分譲住宅が144戸の減少となった。分譲住宅の大幅減少は、昨年の分譲マンション132戸が影響している。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年7月の有効求人倍率は前年同月比0.13ポイント下降の1.13倍となったが、前月との比較では0.02ポイント上昇した。全国(1.24)との比較では0.11ポイント下回っているが、静岡県(1.09)との比較では0.04ポイント上回った。夏季のイベントなどに備えサービス業を中心に求人の増加が見受けられる。

倒産企業



2024年7月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は31件、金額は4.0億円だった。前年同月との比較では件数が1件、金額が0.7億円の増加となった。ゼロゼロ融資の返済開始と円安による仕入れ価格の増加、人手不足が重なり代位弁済は増加傾向にある。

ガソリン価格

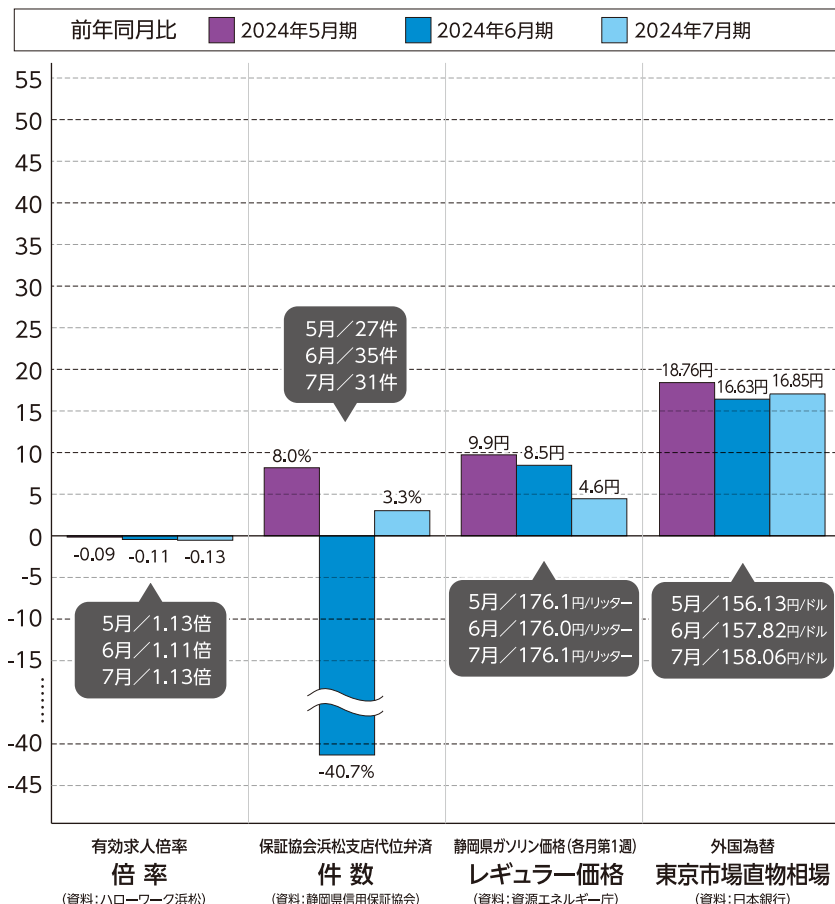


2024年7月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり176.1円で前年同月との比較では4.6円増加し、8カ月連続で175円を上回った。原油価格の高値圏推移は今後も続く模様。

外国為替



2024年7月の外国為替は1ドル158.06円となり、160円間近となった。前年同月との比較では16.85円円安となり、今年1月から7カ月連続で円安が続いている。輸出企業にとっては収益の押し上げに貢献しているが、輸入材料などの支払いコストの上昇は依然続いている。



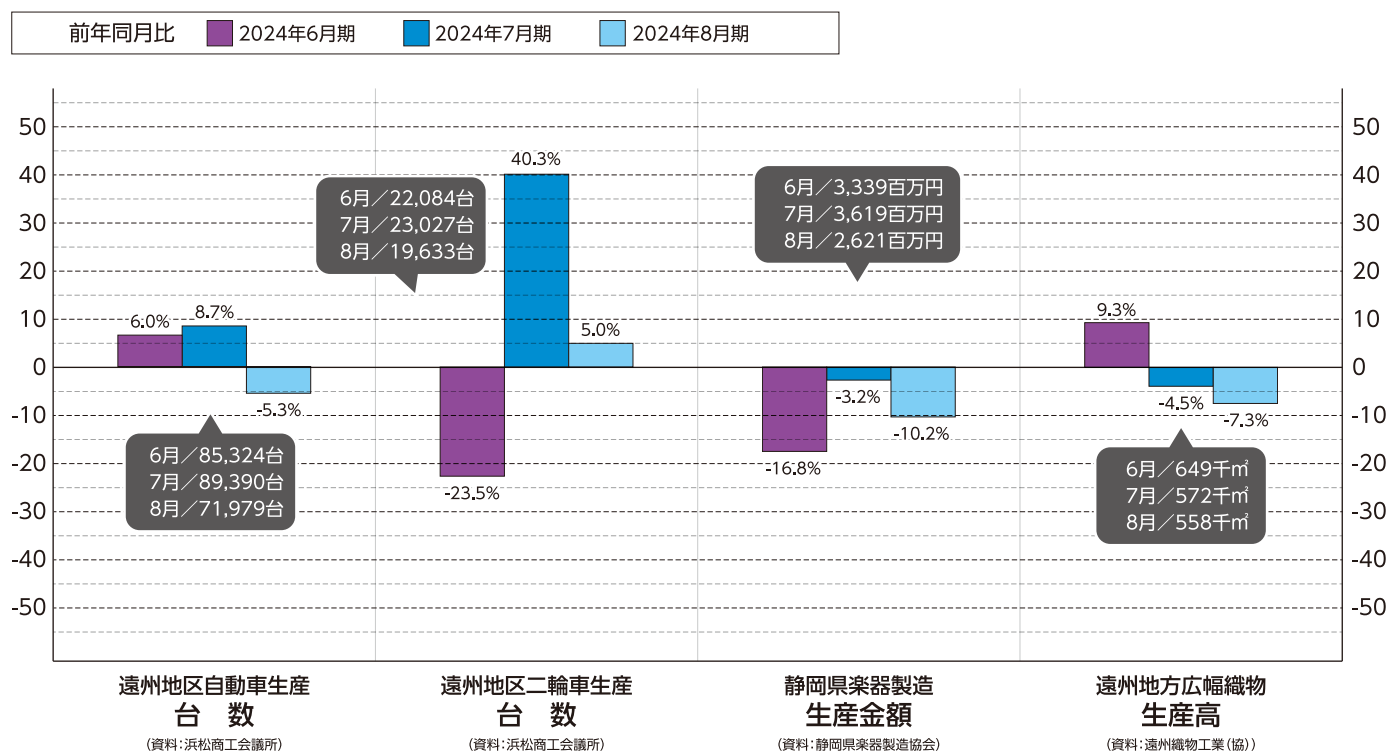
浜松地域の経済動向

2024年
8月を中心に

製造業は夏季休暇などで稼働日数が少なかったことから生産は減少。
非製造業も地震や台風の影響を受けて減少となった。

自動車の生産台数は、小型車の販売終了や輸出向け車種の販売不振が影響し減少となった。二輪車は2カ月連続で前年同月を上回った。楽器は好調だったピアノが落ち込み3カ月連続で前年同月を下回っている。タクシー乗車人員は台風10号の影響を受けて外出機会が減ったことで減少となった。ホテルの稼働率も地震や台風の影響を受けて予約のキャンセルが相次ぎ減少となった。外国為替は7カ月ぶりに円高へと転じ、146.23円となった。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年8月における遠州地区の自動車生産台数は前年比5.3%減の7.1万台となり、7カ月ぶりに前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は1.4%減、小型四輪車は10.3%減、普通自動車は43.8%減となっている。国内向けは5.9%減で7カ月ぶり、輸出は3.5%減で5カ月ぶりの減少となっている。小型車の販売終了や輸出向け車種の販売不振が影響した模様。

二輪車



2024年8月における二輪車生産台数は前年比5.0%増の1.9万台となり、2カ月連続で前年同月を上回った。国内向けは16.5%増、輸出は3.6%増といずれも2カ月連続で前年同月を上回ったが、伸びは鈍化した。排気量別では、50cc以下79.2%増、51cc～125cc以下136.0%増、126cc～250cc以下183.0%増、251cc以上は24.2%減と2カ月ぶりの減少となった。

楽器



2024年8月における楽器生産金額は前年同月比10.2%減の26.2億円となり、3カ月連続で前年同月を下回った。例年8月は夏季休暇等で工場の稼働日数が少なく生産が落ち込む月である。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ34.6%減、電子・電気ピアノ33.1%減、電子オルガン57.4%増、管楽器11.9%増となった。

繊維



2024年8月の生産高は前年同月比7.3%減の558千㎡となり、2カ月連続で前年同月を下回った。8月終盤から春夏衣料向けの生地生産がスタートし、アパレルと直接取引する工場は順調だが、委託生産の工場は小口受注と追加生産なしという傾向が顕著である。また、原材料費・染色加工費・電気代などの上昇が続いており、収益圧迫要因となっている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年8月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比3.8%減の30.6万人となった。運輸収入は、昨年の秋の運賃改定効果があり前年比プラスだが、特に8月は台風10号の影響を多大に受けて、乗車人員は前年比マイナスとなっていた。

観光

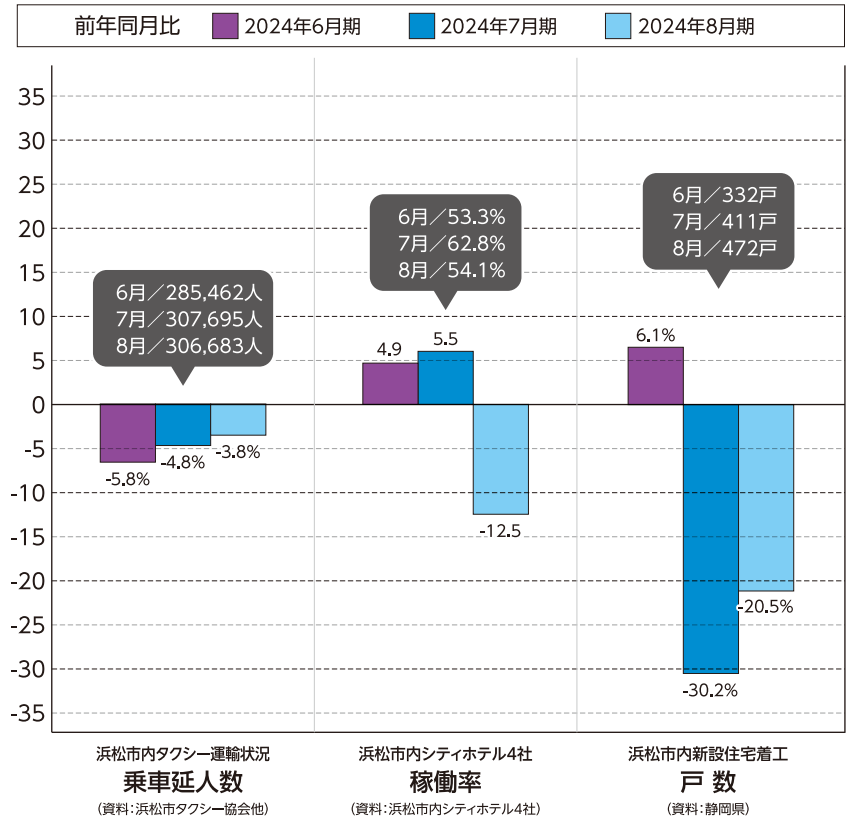


2024年8月の浜松市内ホテルの稼働率は54.1%であり、3カ月ぶりに前年比マイナスとなった。これは、南海トラフ地震臨時情報の発表や台風10号により、キャンセルが増えたことが痛手となった。

住宅着工



2024年8月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比20.5%減の472戸となった。内訳をみると、持家は192戸、貸家207戸、分譲住宅は73戸だった。前年同月との比較では、持ち家が33戸、貸家が67戸、分譲住宅が21戸の減少となり、2カ月連続の減少となっている。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年8月の有効求人倍率は前年同月比0.14ポイント下降の1.13倍となり、前月と変わりなかった。全国(1.23)との比較では0.10ポイント下回っているが、静岡県(1.12)との比較では0.01ポイント上回った。例年、夏季のイベント等で求人は増える傾向にあるが、今年は地震・台風・猛暑により規模縮小や屋外でのイベント中止などで伸び悩んだと思われる。

倒産企業



2024年8月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は43件、金額は3.8億円だった。前年同月との比較では件数16件、金額2.5億円の減少となったが、今年(1月~8月)2番目に多い代位弁済件数となった。仕入れ価格の高騰やエネルギー価格の上昇分を価格に十分転嫁できず、人手不足も重なって代位弁済数は増加傾向にある。

ガソリン価格

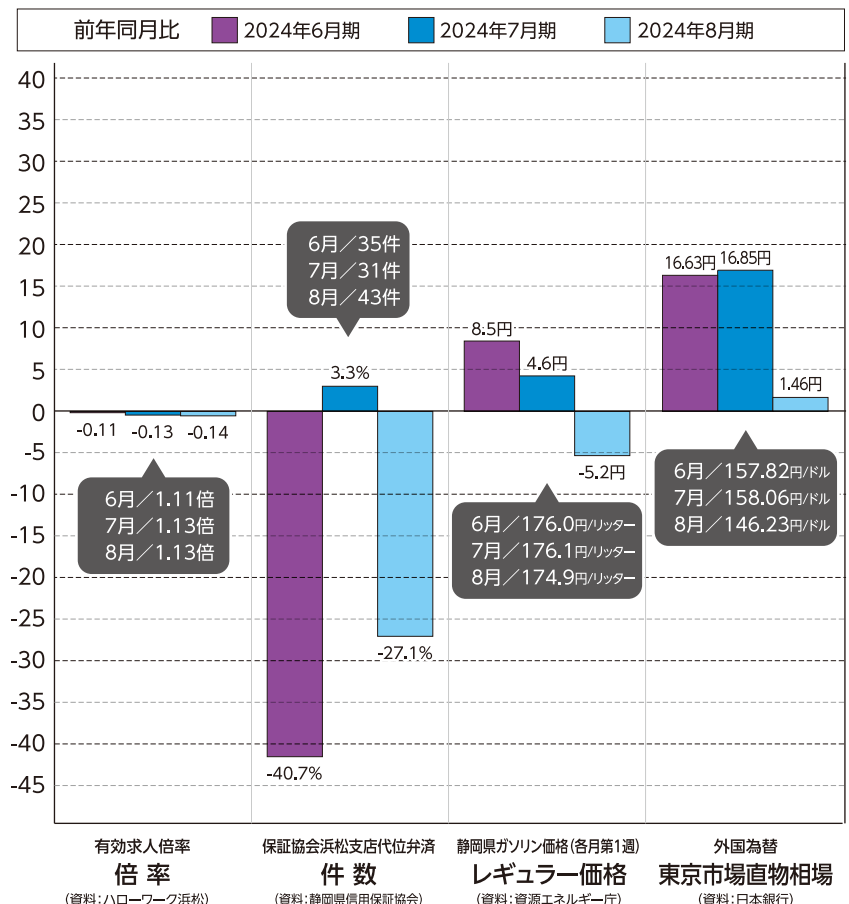


2024年8月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり174.9円で前年同月との比較では5.2円減少となり、14カ月ぶりに前年同月を下回った。175円を9カ月ぶりに下回ったが、依然として高値圏で推移している。

外国為替



2024年8月の外国為替は1ドル146.23円となり、前月と比較すると11.83円の円高となり、実に7カ月ぶりの円高となった。7月31日、日銀は政策金利を0.25%引き上げることを発表したことで円が買われ、円高が進んだ。



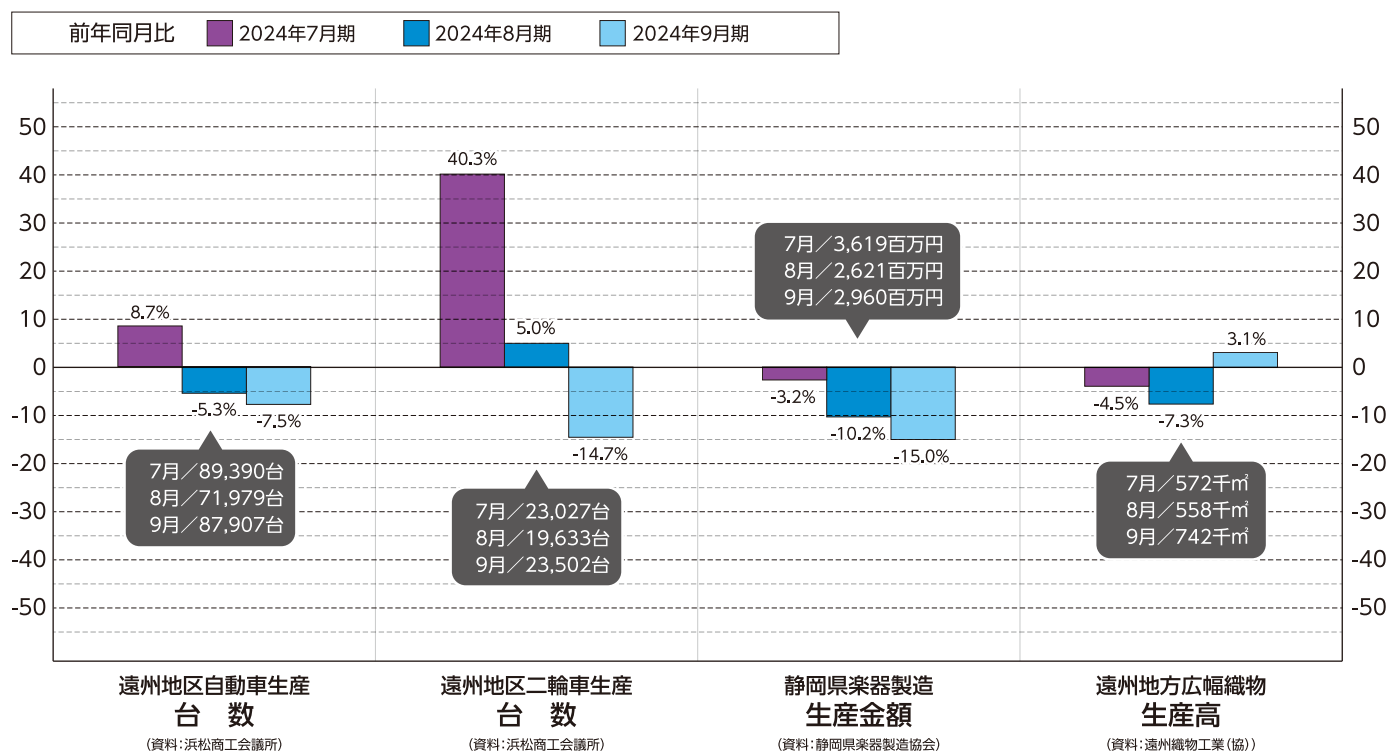
浜松地域の経済動向

2024年
9月を中心に

製造業は自動車・二輪車・楽器が前年比減少となり、
非製造業もイベントなどが少なく減少となった。

自動車の9月生産台数は、国内向け・輸出ともに前年比減少となったが上半期(4-9月)では増加している。二輪車は3カ月ぶりに前年同月を下回った。楽器は、中国経済の低迷によりピアノが落ち込み4カ月連続で前年同月を下回った。タクシーは、昨年秋の運賃改定により売上は前年比プラスだが乗車人員はマイナスとなっている。ホテルの稼働率はイベントなどが少なく集客が難しい状況にある。外国為替は2カ月連続で円高となり、143.38円となった。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年9月における遠州地区の自動車生産台数は前年比7.5%減の8.7万台となり、2カ月連続で前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は0.2%減、小型四輪車は20.0%減、普通自動車は51.6%減となっている。国内向けは1.8%減、輸出向けは23.6%減でいずれも2カ月連続の減少となっている。24年度上半期(4-9月)の生産台数は前年同期比6.8%増と堅調だった。

二輪車



2024年9月における二輪車生産台数は前年比14.7%減の2.3万台となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。国内向けは39.0%減、輸出は11.2%減でいずれも3カ月ぶりに前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下117.2%増、51cc～125cc以下31.9%増、126cc～250cc以下9.6%増、生産台数の大半を占める251cc以上は31.0%減と2カ月連続で大きく減少した。

楽器



2024年9月における楽器生産金額は前年同月比15.0%減の29.6億円となり、4カ月連続で前年同月を下回った。中国経済の低迷によりピアノの生産が減少している。一方、管楽器はコロナ禍で飛沫防止のため吹奏楽の活動を控えていたが、活動が再開したことで生産が増加している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ38.3%減、電子・電気ピアノ3.6%増、電子オルガン26.3%減、管楽器4.2%増となった。

繊維



2024年9月の生産高は前年同月比3.1%増の742千㎡となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。来春夏衣料向けの生地生産が本格化し、産地内の織布工場の稼働率も高まっている。特に、自販型の工場では、フル稼働状態であり、安定した受注を確保している。更に、これまで取引のなかった企業からも問い合わせがあるなど、現状では対応し切れない状況が出始めている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年9月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比7.0%減の28.6万人となった。運輸収入は、昨秋の運賃改定効果があり前年比プラスだが、乗車人員は前年比マイナスとなっている。運賃改定効果が一巡するため、今後は配車アプリなどの活用による乗車人員の伸びがカギになる。

観光

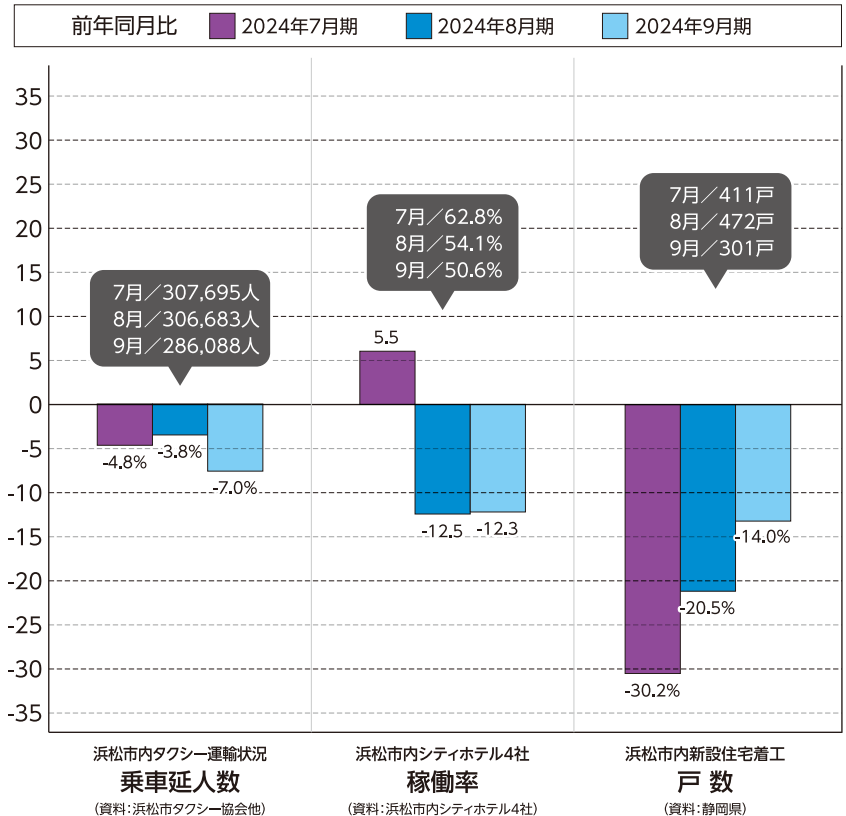


2024年9月の浜松市内ホテルの稼働率は50.6%であり、2カ月連続で前年比マイナスとなった。インバウンドの団体客は好調であるものの、9月はイベントなども少なく集客が難しい状況であった。

住宅着工



2024年9月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比14.0%減の301戸となり3カ月連続の減少となった。内訳をみると、持家は165戸、貸家97戸、分譲住宅39戸で、前年同月と比較すると、持ち家が13戸、貸家が10戸、分譲住宅が26戸の減少となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年9月の有効求人倍率は前年同月比0.16ポイント下降の1.16倍となり、前月との比較では0.03ポイント上昇した。全国(1.24)との比較では0.08ポイント下回っているが、静岡県(1.12)との比較では0.04ポイント上回った。前年と比較して求人数は減少傾向にあるが、建設業や運送業など不足している業種もあり、人手不足の二極化がみられる。

倒産企業



2024年9月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は51件、金額は4.8億円となり、前年同月と比較すると件数6件、金額1.5億円の減少となった。24年度上半期(4月-9月)の前年対比では件数36件、金額5.5億円の減少となっているが、中小企業にとっては厳しい経営環境が続いており、まだまだ予断を許さない状況にある。

ガソリン価格

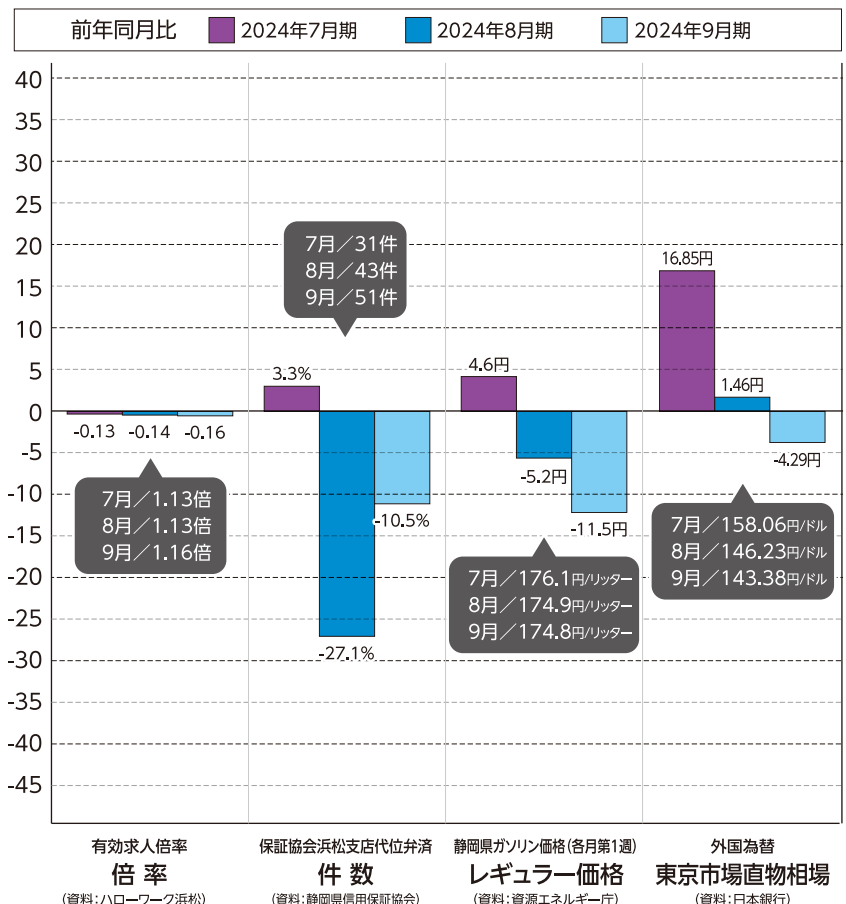


2024年9月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり174.8円で前年同月比では11.5円の減少となり、2カ月連続で前年同月を下回った。アメリカ経済の減速懸念や中国経済の低迷が世界的なガソリン需要の減少に寄与し、原油価格下落の一因となった可能性がある。

外国為替



2024年9月の外国為替は1ドル143.38円で、前年同月比4.29円の下落となり、円高となった。前月との比較でも2.85円下落し、2カ月連続の円高となった。米ドル金利の先行き不透明感が高まり、ドル売りが進んだことで円高が進んだ。



データで見る経済の動き

浜松地域の経済動向

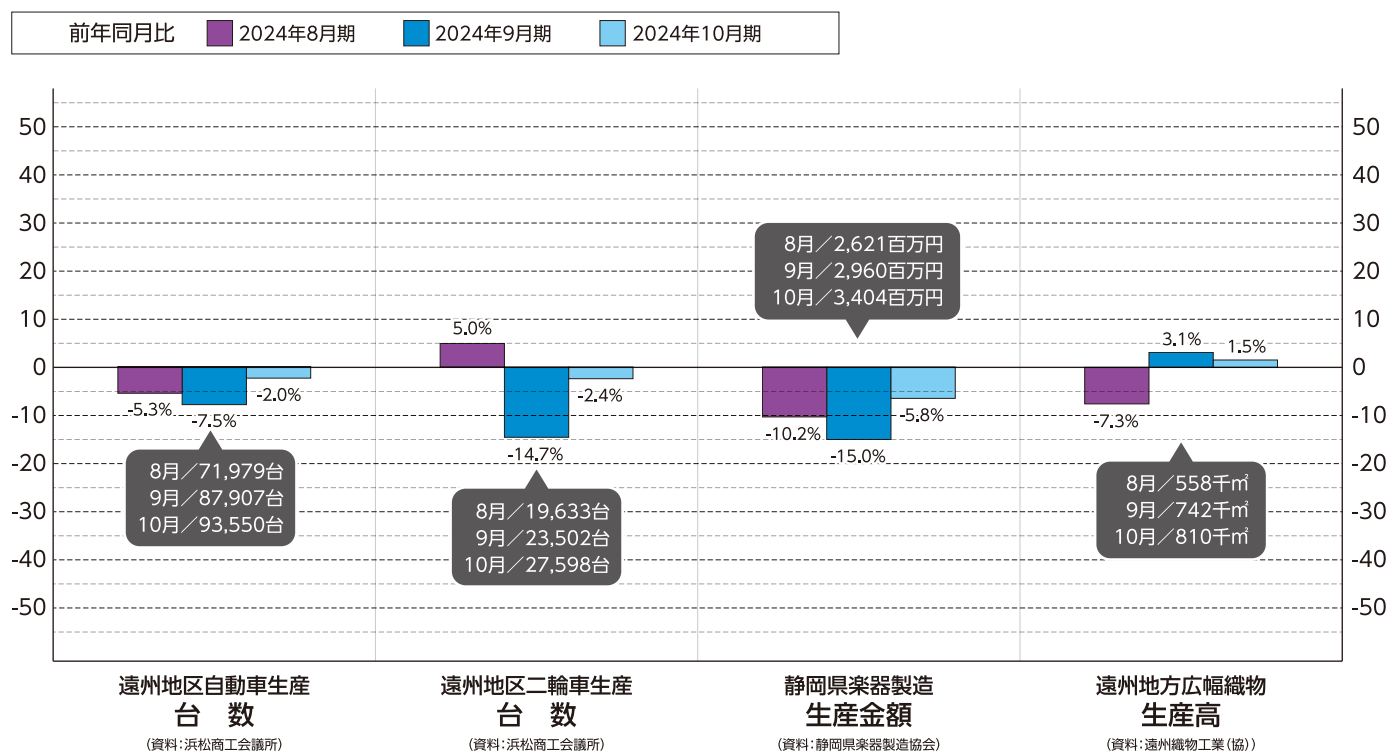
2024年
10月を中心に

製造業は自動車生産台数が3カ月連続で前年比減少。

非製造業はタクシーの乗車人員が11カ月ぶりに増加した。

自動車の10月の生産台数は、国内向けは増加したが輸出向けは3カ月連続で減少した。二輪車は2カ月連続で前年同月を下回り大型バイクの減少が目立つ。楽器は中国経済の低迷によりピアノの生産が減少している。繊維は2カ月連続で前年同月を上回った。タクシーは運転手の増加に伴い、乗車人員が11カ月ぶりに前年比プラスとなった。浜松市のインバウンド補助金が7月末で終了したことでホテルの稼働率は低調に推移し、外国為替は2カ月ぶりに円安となって150円間近となる。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年10月における遠州地区の自動車生産台数は前年比2.0%減の9.3万台となり、3カ月連続で前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は5.3%増、小型四輪車は17.7%減、普通自動車は4.8%減となっている。国内向けは2.5%増で3カ月ぶりの増加、輸出向けは16.4%減で3カ月連続の減少となっている。輸出もしていた小型車の生産終了が影響している模様。

二輪車



2024年10月における二輪車生産台数は前年比2.4%減の2.7万台となり、2カ月連続で前年同月を下回った。国内向けは10.2%減、輸出向けは1.4%減でいずれも2カ月連続で前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下83.3%増、51cc～125cc以下1.8%増、126cc～250cc以下17.3%増、生産台数の大半を占める251cc以上は10.4%減と3カ月連続で減少した。

楽器



2024年10月における楽器生産金額は前年比5.8%減の34.0億円となり、5カ月連続で前年同月を下回った。中国経済の低迷によりピアノの販売が低調に推移し、ピアノ生産高は33.3%減と3カ月連続で30%以上の減少となった。その他の分野別生産高は、電子・電気ピアノ3.9%減、電子オルガン18.3%増、管楽器17.4%増となっている。

繊維



2024年10月の生産高は前年同月比1.5%増の810千㎡となり、2カ月連続で前年同月を上回った。アパレルメーカーなどから直接受注する自販型の工場では、フル稼働状態であり、安定した受注を確保している。一方、遠州産地の8割を占める委託生産(下請け型)の工場では、受注が芳しくなく、2極化している。また、インスタなどのSNSを活用した展示会のブースは活況を呈するなど、情報発信力も重要になっている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年10月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比0.8%増の30.1万人となった。タクシー運転手の増加に伴い、乗車人員が11カ月ぶりに前年比プラスとなった。運賃改定の効果が一巡したが、乗車人員が増加したことで増収となった。

観光

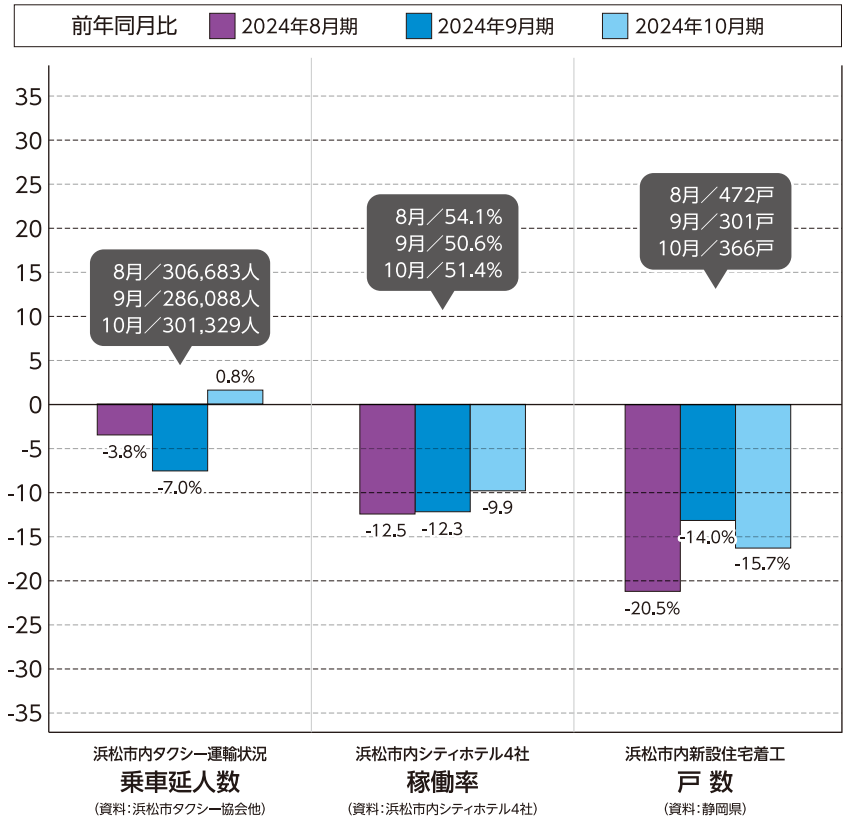


2024年10月の浜松市内ホテルの稼働率は51.4%であり、3カ月連続で前年比マイナスとなった。浜松市のインバウンド補助金が7月末で受付終了となったため、インバウンドの団体客が減少し、ホテル稼働率も低調となっている。

住宅着工



2024年10月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比15.7%減の366戸となり4カ月連続の減少となった。内訳をみると、持家は175戸、貸家105戸、分譲住宅86戸で、前年同月と比較すると、持ち家が16戸の増加、貸家が13戸、分譲住宅が71戸の減少となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年10月の有効求人倍率は前年同月比0.13ポイント下降の1.17倍となり、前月との比較では0.01ポイント上昇した。全国(1.25)との比較では0.08ポイント下回っているが、静岡県(1.12)との比較では0.05ポイント上回った。コロナ禍以降、有効求人倍率は上昇傾向にあったがコロナ前の2019年10月(1.44)との比較では0.27ポイント下回っている。

倒産企業



2024年10月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は35件、金額は3.3億円となり、それぞれ3カ月ぶりに前年同月を上回った。コロナ禍の影響を大きく受けた飲食業などは回復が遅れ、依然として厳しい状況にある。さらに、原材料費やエネルギー価格の高騰が企業の収益を圧迫し、資金繰りを悪化させている。

ガソリン価格

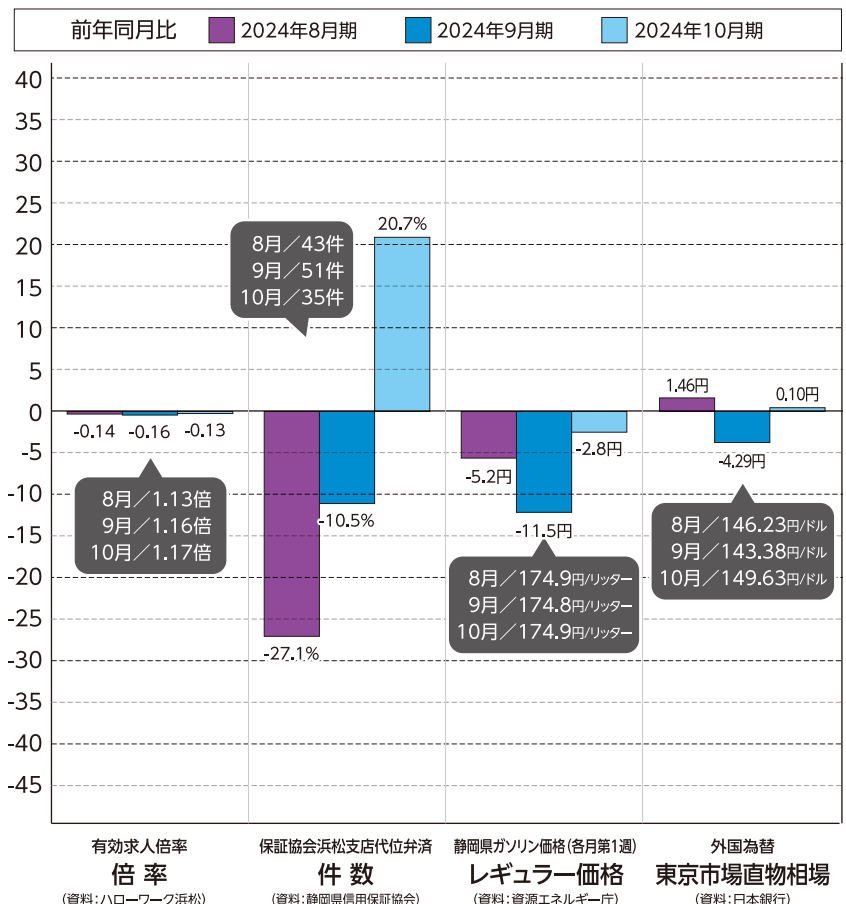


2024年10月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり174.9円で前年同月比では2.8円の減少となり、3カ月連続で前年同月を下回った。ガソリン補助金により175円程度をキープしているが、今後補助金がなくなるとガソリン価格の上昇により消費や物流に与える影響は大きい。

外国為替



2024年10月の外国為替は1ドル149.63円で、前年同月比0.10円の上昇となり、円安となった。前月との比較でも6.25円上昇し、2カ月ぶりに円安となり、再び150円圏近となった。



浜松地域の経済動向

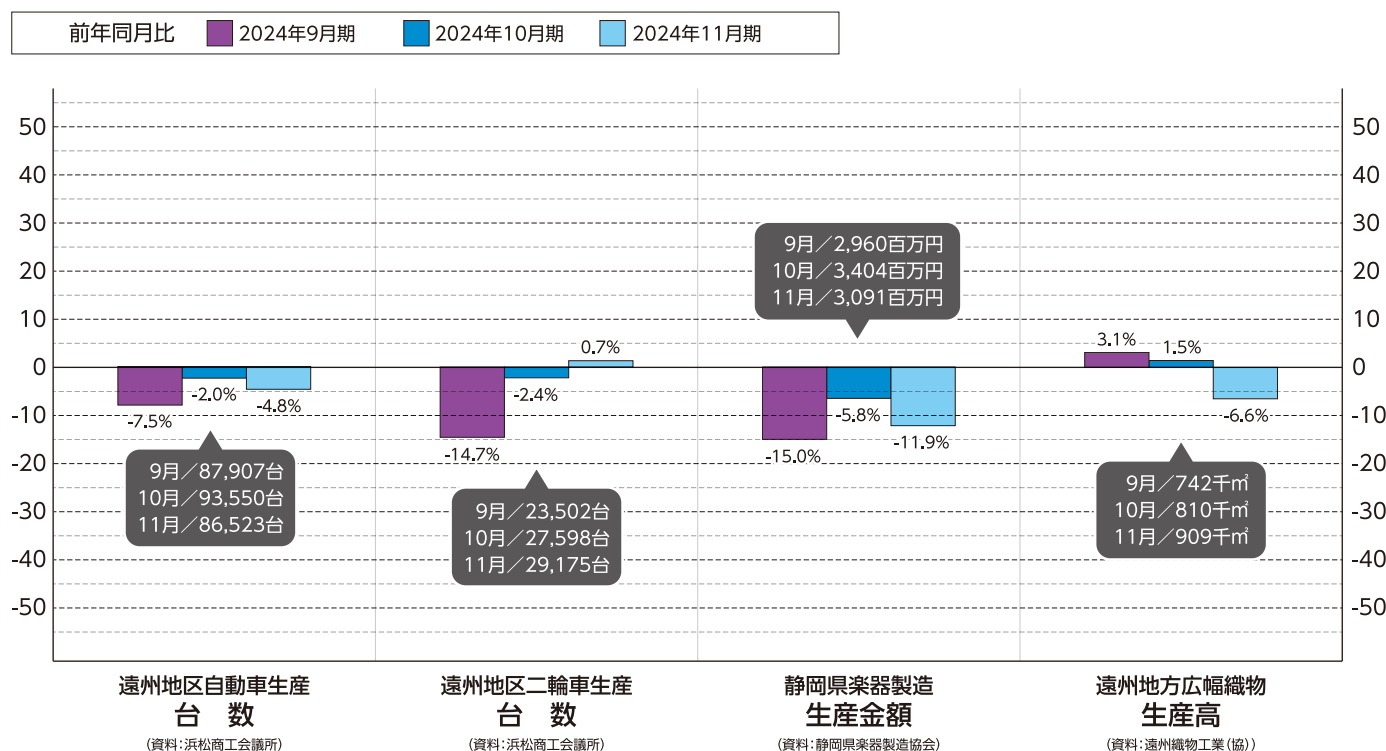
2024年
11月を中心に

製造業は自動車生産台数が4カ月連続で前年比減少。

非製造業はホテルの稼働率がコロナ以降で最高となった。

自動車の11月生産台数は、国内向けは2カ月連続で増加したが輸出向けは4カ月連続で減少した。二輪車は3カ月ぶりに前年同月を上回り排ガス規制に伴い小型バイク以下の駆け込み増がみられる。楽器は中国経済の低迷と受験システムの変更によりピアノの生産が減少。繊維は3カ月ぶりに前年同月を下回った。タクシーは運転手を増加したことが乗車人員の増加につながり、ホテルの稼働率は個人客とビジネス客が予想以上に伸びたためコロナ禍以降で一番高い稼働率となった。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年11月における遠州地区の自動車生産台数は前年比4.8%減の8.6万台となり、4カ月連続で前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は3.6%増、小型四輪車は18.0%減、普通自動車は63.7%減となっている。国内向けは0.9%増で2カ月連続の増加、輸出向けは21.8%減で4カ月連続の減少となっている。輸出もしてきた小型車の生産終了が影響している。

二輪車



2024年11月における二輪車生産台数は前年比0.7%増の2.9万台となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。国内向けは12.3%増と3カ月ぶりに増加したが、輸出向けは0.2%減と3カ月連続で前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下が76.0%増、51cc～125cc以下が24.3%増、126cc～250cc以下が9.1%減で、251cc以上は3.5%減と4カ月連続で減少した。

楽器



2024年11月における楽器生産金額は前年比11.9%減の30.9億円となり、6カ月連続で前年同月を下回った。中国経済の低迷と受験システムの変更によりピアノの販売が低調に推移。代わりにコロナ禍で落ち込んだ管楽器の生産が増加している。ピアノ生産高は35.5%減で4カ月連続30%以上の減少となった。その他の分野別生産高は、電子・電気ピアノ7.2%減、電子オルガン0.0%で同額、管楽器10.8%増となっている。

繊維



2024年11月の生産高は前年同月比6.6%減の909千㎡となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。例年ならば、衣料品向けの今春夏用生地生産がピークを迎える時期だが、盛り上がり欠ける状況である。原因の一つには、産地の生産規模の縮小に伴い、生産能力が落ちていることが挙げられる。これにより納期が読みにくくなるため、発注側から敬遠される傾向がみられる。また、海外の工場に受注が流れることも懸念される。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年11月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比4.0%増の30.3万人となった。11月の曜日配列で金・土曜日が多かったことも要因であるが、タクシー運転手数が、前年比8%程度増えているのが功を奏していると思われる。

観光

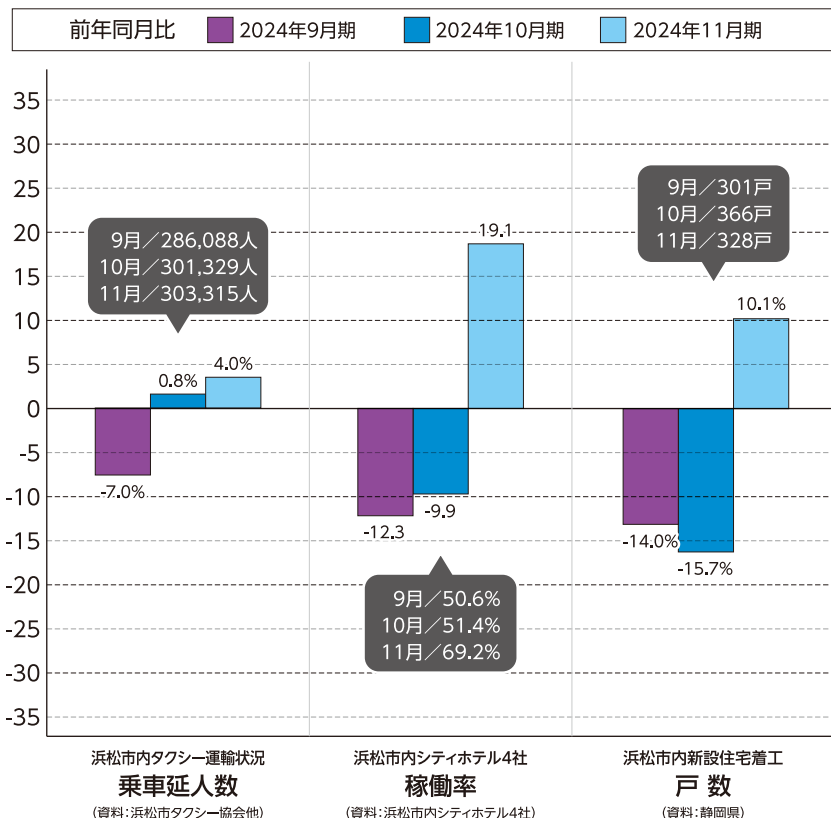


2024年11月の浜松市内ホテルの稼働率は69.2%であり、コロナ禍以降で一番高い稼働率であった。団体客では国内の募集ツアーが好調であったのと、個人客もビジネス客を中心に予想以上に伸びたためである。

住宅着工



2024年11月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比10.1%増の328戸となり5カ月ぶりに増加となった。内訳をみると、持家は159戸、貸家84戸、分譲住宅85戸で、前年同月と比較すると、持ち家が3戸の減少、貸家が25戸、分譲住宅が9戸の増加となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年11月の有効求人倍率は前年同月比0.16ポイント下降の1.23倍となった。全国(1.25)との比較では0.02ポイント下回っているが、静岡県(1.10)との比較では0.13ポイント上回った。前月との比較でみると静岡県の有効求人倍率は0.02ポイント下降となったが、浜松市は0.06ポイント上昇している。

倒産企業



2024年11月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は29件、金額は4.1億円となり、それぞれ前年同月を下回った。昨年はゼロゼロ融資の返済が始まり、返済困難となる企業が増えたが落ち着いた様子。しかし、依然として原材料費やエネルギー価格の高騰は中小零細企業の収益を圧迫している。

ガソリン価格

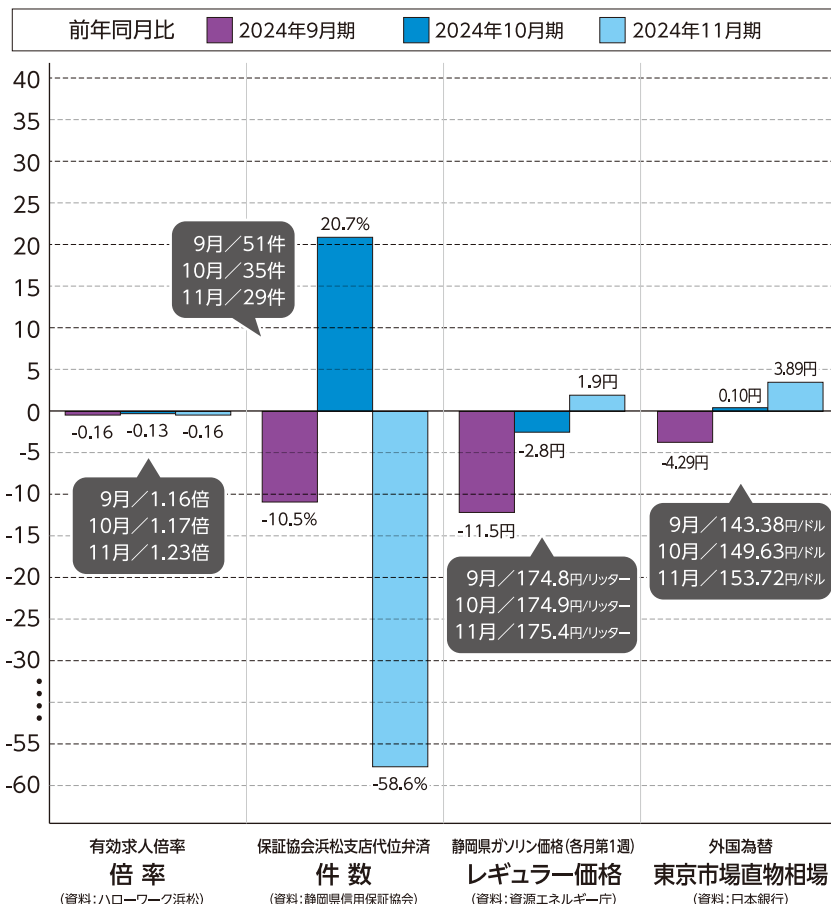


2024年11月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり175.4円で前年同月比で1.9円の増加となった。ガソリン補助金により175円程度を維持しているが、補助金は段階的に縮小、また将来的には廃止という方向性が政府から示され、補助金がなくなると価格の上昇により消費や物流に与える影響は大きい。

外国為替



2024年11月の外国為替は1ドル153.72円で、前年同月比3.89円の上昇となり、円安となった。前月との比較でも4.09円上昇し、2カ月連続で円安となり、4カ月ぶりに150円超となった。



データで見る経済の動き

浜松地域の経済動向

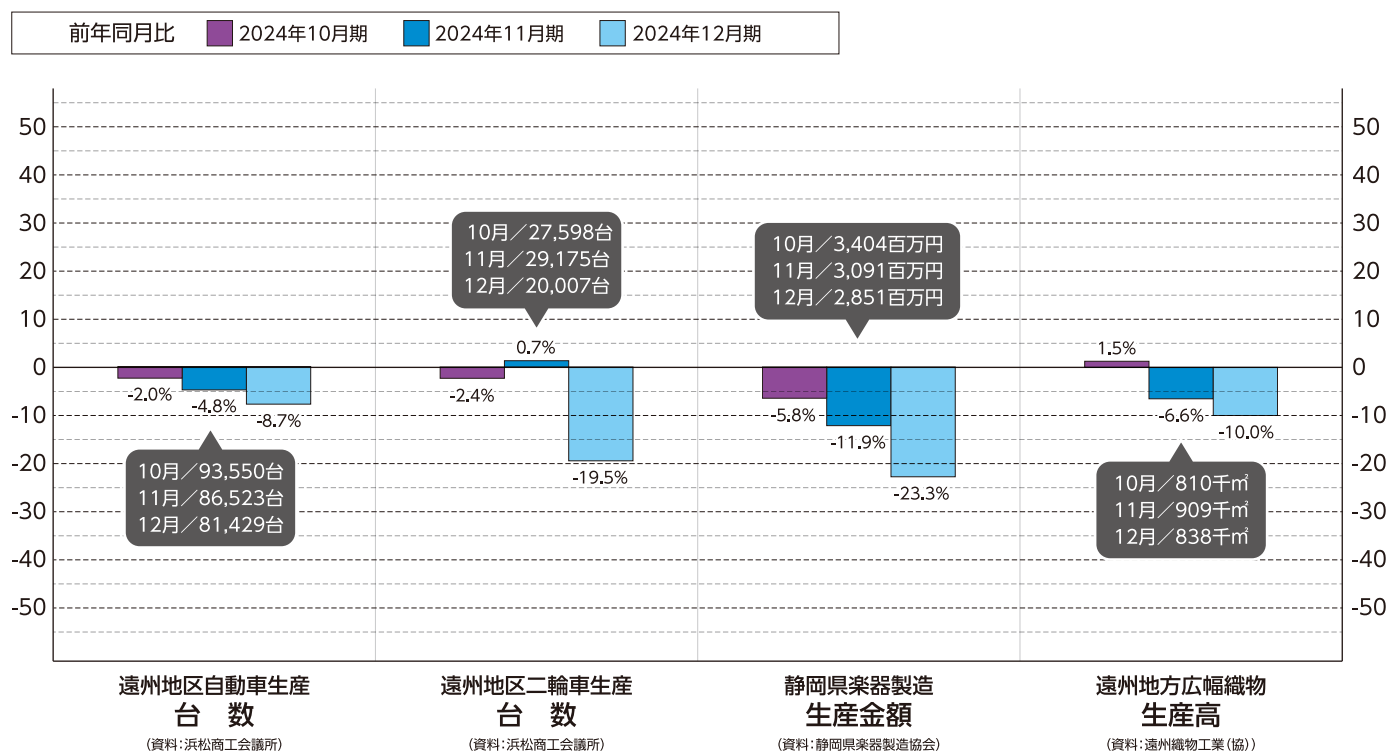
2024年
12月を中心に

製造業は自動車生産台数が5カ月連続で前年比減少。

非製造業では新設住宅着工件数が大幅な減少となった。

自動車の12月生産台数は、国内向けが3カ月ぶりに減少し輸出向けは5カ月連続で減少となった。二輪車は、国内向けは堅調に推移するも輸出向けが4カ月連続で減少している。楽器は、3カ月ぶりに生産金額30億円を割り込み7カ月連続で前年同月を下回った。タクシー乗車人員は、忘年会による需要もあり前年並みで推移、ホテルの稼働率はインバウンド堅調に推移し2カ月連続で60%台だった。住宅着工件数は、2006年1月の調査以来初めて200戸を下回った。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年12月における遠州地区の自動車生産台数は前年比8.7%減の8.1万台となり、5カ月連続で前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は0.8%増、小型四輪車は25.5%減、普通自動車は63.4%減となっている。国内向けは5.7%減で3カ月ぶりの減少、輸出向けは19.4%減で5カ月連続の減少となっている。輸出もしていた小型車の生産終了の影響が続いている。

二輪車



2024年12月における二輪車生産台数は前年比19.5%減の2.0万台となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。国内向けは36.6%増と2カ月連続で増加したが、輸出向けは22.9%減と4カ月連続で前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下が20.3%増、51cc～125cc以下が3.7%減、126cc～250cc以下が27.7%減で、251cc以上は23.2%減と5カ月連続で減少した。

楽器



2024年12月における楽器生産金額は前年比23.3%減の28.5億円となり、3カ月ぶりに30億円を下回り、7カ月連続で前年同月を下回った。引き続き中国経済低迷の影響を受けてピアノ販売が低調に推移。ピアノ生産高は前年同月比40.7%減で5カ月連続の30%以上減少となっている。その他の分野別生産高は、電子・電気ピアノ73.8%増、電子オルガン29.5%減、管楽器15.0%減となっている。

繊維



2024年12月の生産高は前年同月比10.0%減の838千㎡となり、2カ月連続で前年同月を下回った。今春夏衣料向けの生地が生産がほぼ終了し、盛り上がり欠けた生産シーズンとなった。コロナ禍で廃業した工場もあり、遠州産地の生産規模の縮小しているため、数量や納期などの要望に応えることが難しくなっている。このような状況が続けば、海外の工場に受注が流れることも懸念される。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年12月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比0.3%増の32.5万人となった。12月は忘年会シーズンで需要が旺盛となる中、タクシー運転手数が、前年比11%程度増えているのが功を奏していると思われる。

観光

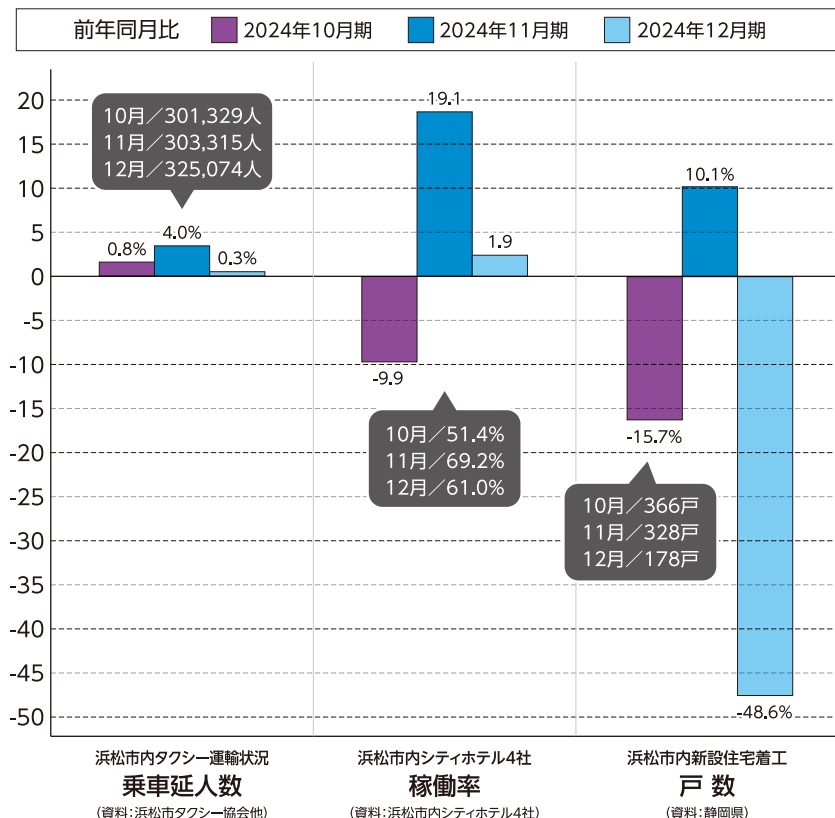


2024年12月の浜松市内ホテルの稼働率は61.0%であり、2カ月連続で60%台であった。団体客ではインバウンド・募集ツアーが堅調であったが、個人客は観光・ビジネスとも伸び悩む傾向が続いている。

住宅着工



2024年12月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比48.6%減の178戸となり、2006年1月の調査以来初めて200戸を下回った。内訳をみると、持家は113戸、貸家25戸、分譲住宅40戸となり、前年同月比でみると、持ち家が26戸減少、貸家が66戸減少、分譲住宅が75戸減少とすべて減少となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年12月の有効求人倍率は前年同月比0.15ポイント下降の1.30倍となった。全国(1.25)との比較では0.05ポイント、静岡県(1.08)との比較では0.22ポイント上回っている。前月比でみると静岡県の有効求人倍率は0.02ポイント下降したが、浜松市は0.07ポイント上昇と求人が増加している。

倒産企業



2024年12月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は43件で前年同月比1件減少、金額は6.5億円で3.2億円の増加となった。原材料費やエネルギー価格の高騰が中小零細企業の資金繰りを圧迫している。特に飲食業は、小麦粉を含む原材料費の高騰に加え、人手不足・人件費の増加による経費の増加、さらに新型コロナウイルス感染症の影響で消費行動の変化により倒産件数が増えている。

ガソリン価格



2024年12月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり175.8円で前年同月比0.4円の増加となった。ガソリン補助金は12月19日から5円程度縮小され、12月後半は小売価格の上昇につながった。ガソリン価格の上昇は消費や物流に与える影響が大きく、輸送コストの増加は物価の上昇や経済活動の停滞にもつながる恐れがある。

外国為替



2024年12月の外国為替は1ドル156.49円で、前年同月比12.42円の上昇となり、円安となった。前月との比較でも2.77円上昇し、3カ月連続で円安となった。150円超は2カ月続いている。

